

医療法人社団寿量会

YEARLY

REPORT

2018

QOL &
Normalization

沿革・概要

History & Overview

1

- 01 目次
- 02 医療法人社団 寿量会
- 03 熊本機能病院の理念
- 04 関連法人
- 05 理事長挨拶・院長挨拶

医療・介護活動の

まとめ

Summary of Medical Care

2

- 06 論文表彰
- 07 平成30年度の主な活動
- 08 診療科別患者数・紹介率
病棟種別 入院・退院経路
- 09 入院病名統計
- 10 入院時紹介元施設
退院時紹介先施設
- 11 入院患者診療圏
年度別 入院患者年齢層
- 12 平均在棟日数
クリニカルパス運用率
手術件数
- 13 インシデント・アクシデント報告状況
患者満足度調査

部署別報告

Departmental Report

3

- 14 整形外科
- 17 形成外科・小児形成外科
- 18 皮膚科
- 19 脳神経内科・リハビリテーション科・内科
- 21 消化器外科・耳鼻咽喉科
- 22 循環器内科
- 24 血管外科
- 25 リウマチ科
脳神経外科
- 26 救急科・外科
- 27 放射線科・地域医療連携画像診断センター
- 28 麻酔科
- 29 薬剤部
- 30 医学検査部
- 32 栄養部
- 33 総合リハビリテーション部
- 35 看護部
- 36 医療安全管理部門
- 37 医療連携部
- 38 清雅苑・地域ケア支援センター
- 41 熊本健康・体カづくりセンター
- 42 有明海リハビリテーションクリニック
- 43 なないろ森の保育園

医療法人社団寿量会

医療法人社団
寿量会

熊本機能病院

院長：中島 英親
病床数：395床（一般病棟：176床 地域包括ケア病棟：55床
回復期リハビリテーション病棟：131床
障害者施設等一般病棟：33床）

介護老人保健施設 清雅苑

施設長：山永 裕明
入所：定員80床 通所：定員140名

指定運動療法施設
熊本健康・体力づくりセンター

所長：原田 栄作

有明海リハビリテーションクリニック

院長：梶原 瑞恵

地域ケア支援センター

- 通所リハビリテーションセンター清雅苑
- 訪問リハビリテーションセンター清雅苑
- 熊本機能病院在宅サービスセンター
- 訪問看護ステーション清雅苑
- ヘルパーステーション清雅苑
- 熊本市北3地域包括支援センター

なないろ森の保育園

（熊本市保育所型事業所内保育事業）

園長：肥野真紀子
定員：25名（0歳～2歳）

標榜科目

| | | | |
|-------|------------|--------|-------|
| 整形外科 | 形成外科 | 小児形成外科 | 脳神経外科 |
| 血管外科 | 麻酔科 | 放射線科 | 循環器内科 |
| 脳神経内科 | リハビリテーション科 | リウマチ科 | 内科 |
| 救急科 | 外科 | 皮膚科 | 消化器外科 |
| 耳鼻咽喉科 | | | |

救急・特殊センター

- 救急センター
- 切断指肢再接着センター
- 農業外傷センター
- 四肢外傷センター
- 循環器センター
- 総合血管センター
- 国際唇裂口蓋裂センター
- アノマリーセンター
- 神経生理センター
- 地域医療連携 画像診断センター
- 神経難病センター
- スポーツ外傷センター
- 人工関節センター
- 骨粗しょう症センター

附設・併設施設

- 熊本加齢医学研究所
- 地域交流館

当院の患者さんや家族の方々の会

- 唇裂口蓋裂 親の会「あじさいの会」
- パーキンソン病 友の会「楽友会」
- 骨粗しょう症 患者の会

地域の方々の会

- NPO法人健康と幸せの会

受託事業

- 熊本市北3地域包括支援センター
（熊本市高齢者支援センターささえりあ清水・高平）
- 熊本地域リハビリテーション広域支援センター

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします

■理念の実現のため、私たちは以下の項目を基本方針とします

私たちは人間の尊厳を守り
健康生活への奉仕をいたします



◆患者さんのために…… For Patients

- **一貫した医療**
24時間体制、救急医療から疾病治療とリハビリテーション医療を通して在宅生活までの一貫した医療を実践します
- **パートナーシップ**
私たちは患者さんとのパートナーシップを最も重視します
- **高度治療**
疾病の高度治療の充実をはかります
- **生活自立支援**
患者さん・ご利用者の生活自立への支援を行います
- **個人情報の保護**
職員は職務上知り得た個人情報を守ります
- **エビデンス**
エビデンス（科学的根拠）に基づいた医療を実践します

◆地域のために…… For Community

- **地域連携**
保健・医療・介護・福祉・地域生活の連携をはかります
- **社会還元**
健全経営の維持に努力し、その成果を医療活動を通して社会に還元します
- **「医療の谷間」解消**
地域における「医療の谷間」の解消への努力をします

◆職員さんのために…… For Staff

- **教育・研修**
医療充実のための教育・研修・研究事業を行います
- **働きがいのある職場**
職員さんが病院と共に成長できる働きがいのある職場風土を育むことに努めます

関連法人

社会福祉法人 寿量会

【開設年月日】 平成2年4月19日
【管 理 者】 理 事 長：米満 淑恵

特別養護老人ホーム天寿園
特別養護老人ホーム天寿園青葉（地域密着型特養）
特別養護老人ホーム天寿園NeO（地域密着型特養）
指定居宅サービス事業所
天寿園ショートステイ「ふれんど」
天寿園デイサービスセンター
ホームヘルパーステーション天寿園
グループホーム虹の家、虹の家デイサービスセンター
デイサービス今町ホーム、デイサービスひらき橋
小規模多機能型居宅介護事業所銀座通りハウス
天寿園在宅サービスセンター（居宅介護支援）
ケアハウス宝光庵
受託事業：熊本市南5地域包括支援センターささえりあ天明



NPO法人（特定非営利活動法人） 健康と幸せの会

【開設年月日】 平成21年10月22日
【管 理 者】 理 事 長：西 哲司
副理事長：米満 弘之

【基本理念】
熊本市北部地域を中心とした市民全般に対して、健康を幅広く捉え、医療・保健・福祉、文化面に至るまでの各分野の専門家による講演会開催事業を行い、市民のより健康で幸せな生活づくりに寄与することを目的とする

特定非営利活動法人（NPO法人） ソーシャルインクルージョン研究センター

【開設年月日】 平成24年6月1日
【管 理 者】 理 事 長：米満 弘之
センター長：若本 隆治

【基本理念】
社会や家族から独立し排除、差別されている人々（障がい者・高齢者・刑余者・貧困層等）に対して健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支えあうための社会福祉の実現に寄与することを目的とする

特定非営利活動法人（NPO法人） 熊本県骨バンク協会（事務局）

【開設年月日】 平成17年6月8日
【管 理 者】 理 事 長：宮本 健史
組織管理者：中根 惟武

【基本理念】
熊本県骨バンク協会は、同種骨移植術を要する人々に対し、安心・安全な同種骨を安定的に供給し、人々の健康及び移植医療の発展に寄与します

NPO法人（特定非営利活動法人） 熊本高齢社会活性化研究センター

【開設年月日】 平成26年10月2日
【管 理 者】 理 事 長：米満 弘之
センター長：二塚 信

【基本理念】
超高齢社会の到来が目前に迫る今日、介護や療養を必要としない高齢者を増加するための方法、健康な高齢者の就労支援の方法、地域包括ケアのなかでの活動の方法等を探究し、健康寿命の延伸や社会参加を通して、健やかで生き甲斐のある高齢社会の実現に寄与することを目的とする

NPO法人（特定非営利活動法人） ジ・アース「かぼちゃの家」

【開設年月日】 平成18年8月8日
【管 理 者】 理 事 長：米満 弘之
施 設 長：東 明美

【基本理念】
障がい者を中心に高齢者や子育てに渡る、広範な人に対するサービスを提供することで、相互のつながりを深めコミュニティ形成を促進することにより、地域社会の公益に寄与することを目的とする

一般社団法人 未来社会創造機構

【開設年月日】 平成28年4月1日
【管 理 者】 理 事 長：米満 弘之
副理事長：十時義七郎
足立 國功

【基本理念】
ソーシャルインクルージョンの理念に基づいた未来社会の創造に寄与することを目的とする



理事長挨拶

地域に愛され、地域の誇りとなる病院を目指して

医療法人社団 寿量会 理事長 米満 弘一郎

2018年度の年報が完成いたしました。

平成最後の病院の1年間の記録であります。

平成時代の当院の歩みは、会長以下、地域のために医療と介護、福祉を追及してきた30年間であったと思います。

当院は、地域のために奉仕することで地域に愛され、また生活のパートナーとして信頼して貰うことを目指してまいりました。また、地域の誇りとなるような専門分野の研鑽も同時に最重要視してまいりました。今後も、この方針は変わるところではありませんし、益々深めていくべきと考えます。

今回の年報の数字から、地域貢献や専門医療進化を測る物差しは何かと、皆でしっかりと考えながら、地域とともに、新しい令和の時代に一步一步理想の病院像を追及してまいりたいと思います。



院長挨拶

時代の変化に対応しながら、新たな一歩へ

熊本機能病院 院長 中島 英親

昨年度は、平成28年度に発生した熊本地震後、施設の復旧や経営の回復に尽力し、病院経営としても一層回復した年でありました。これも、地域の皆さまに支えられ、手術件数も例年通りの3,210件と専門的な医療を継続的に提供することができたためと思います。

当院の今後の計画として、開設当時（昭和56年）の建物の解体に着手します。当院開設から38年が経過し、時代の変化とともに、新たな一歩へ踏み出す所存であります。解体には多くの費用が掛かりますので、病院経営の安定を考えながら、進めていきたいと考えております。

この1年を振り返りますと、8月には「火の国まつり おてもやん総踊り」に4回目の参加をいたしました。毎年恒例になった総踊りですが、職員との交流を通して、絆が生まれ「またがんばろう」という気持ちになります。昨年度は総踊り中に、強い雨が降り出し歩道も水浸しになるハプニングもありましたが、職員一同「熊本の復興」を願いながら、最後まで踊りました。

9月には3回目となります「地域連携のつどい」を開催し、地域の先生方と意見交換を行いました。久しぶりにお会いする先生もおられ、大変意義のある時間となりました。今後も地域の先生方とともに「顔の見える連携」を進めていきたいと思っております。

また、当院では医療の質の向上を目指し、「九州マイクロサージャリーショップ」を開催しており、昨年度は10月に開催し、全国から5名の医師が参加しました。1日かけてラットの頸動脈、兎動脈吻合ができるよう1対1の指導をいたします。「これからの医療」に役立てて頂ければ、という思いで、今後も「医療の質の向上」に貢献できるよう継続していきたく考えております。

医療の根幹をなす安全に関しては、「医療安全管理」「院内感染管理」「医療機器安全管理」が重要な部門であり、週・月単位で事象原因を追究し、記録分析をしています。熊本赤十字病院や済生会熊本病院との連携を通して、質の高い医療安全体制の構築に努めております。

また、経営改善の取り組みとしては、「バランス・スコアカード（BSC）」を平成28年度より導入し、今年度で4年目となります。各部署が目標を設定し発表することで、情報共有の良い機会となっており、また継続していくにつれて、内容も深いものとなりつつあります。

地域社会に貢献することを目指してきた私たちは、病院の基本方針である「医療の質の向上・医療安全の確保・医療経営の安定した発展」への取り組みを継続してまいります。

論文表彰

| No. | | 名前 | 主催名 | 表彰 | 題名 |
|-----|-----|----------------------------------|----------------------|----------------|---|
| 1 | 薬剤部 | 木村美紗子 星野輝彦 中原久美子 徳永好美 塩津和則 | 熊本県病院薬剤師会 | 優秀論文賞 | 臨床検査課との連携による血液検査値異常の早期発見と処方提案の有用性 |
| 2 | 薬剤部 | 森崎崇文 星野輝彦 下田賢一郎 塩津和則 清田克彦 | 熊本県病院薬剤師会 | 優秀論文賞 | 人工膝関節置換術術後疼痛に対するNSAIDsと少量トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠併用療法の有効性および安全性 |
| 3 | 薬剤部 | 福島史織 星野輝彦 塩津和則 | 熊本県病院薬剤師会 九州山口薬学会 | 優秀論文賞 論文奨励賞 | 薬剤師の病棟業務における薬学的介入の実施ならびにその有用性に関する考察 |
| 4 | 薬剤部 | 下田賢一郎 星野輝彦 森崎崇文 塩津和則 水野雄二 | 熊本県病院薬剤師会 | 優秀論文賞 | DPP-4阻害薬からデュラグルチドへ切り替え後血糖値、ヘモグロビンA1cが改善した2型糖尿病患者4症例 |
| 5 | 救急科 | 米満弘一郎 | 全日本病院協会 | 最優秀論文 | 災害時病棟放棄における経営的BCP～熊本地震における当院の経験から～ |

薬剤部



救急科



平成30年度の主な活動

| | 内 容 |
|--------|--|
| 4月1日 | 平成30年度 寿量グループ入社式・開設記念式・互助会総会 |
| 4月7日 | なないろ森の保育園 開園式 |
| 4月25日 | 広西医科大学 施設見学 |
| 5月19日 | 地域向けメディカルフィットネスセミナー（熊本健康・体かづくりセンター） |
| 6月1日 | 研究者向け講習会・講演会 |
| 6月24日 | 第4回ICLSコース講習会 |
| 7月4日 | 第37回救急医療勉強会 |
| 7月10日 | 大邱保健大学（韓国）・コンケン大学（タイ） 施設見学 |
| 7月28日 | 第12回KEMAT（Kumamoto Emergency Medical Assessment and Triage）コース開催 |
| 8月4日 | 第41回火の国まつり おてもやん総おどり参加 |
| 8月7日 | 平成30年度 医療機関立入調査（熊本機能病院） |
| 9月14日 | 熊本大学医学部1年生 早期臨床体験学習 |
| 9月15日 | 第3回地域連携のつどい |
| 10月11日 | 広西医科大学 施設見学 |
| 10月26日 | 第25回九州マイクロサージャリー ワークショップ |
| 10月31日 | なないろ森の保育園 ハロウィン |
| 11月2日 | 平成30年度介護老人保健施設 実施指導（介護老人保健施設 清雅苑） |
| 11月3日 | JURYO FESTA 2018 |
| 11月9日 | 互助会 ボウリング大会 |
| 11月11日 | 第11回メディカルフィットネスセミナー（熊本健康・体かづくりセンター） |
| 12月10日 | 第38回救急医療勉強会 |
| 2月16日 | 第12回メディカルフィットネスセミナー（熊本健康・体かづくりセンター） |
| 3月23日 | なないろ森の保育園 卒園式 |



第4回ICLSコース研修会



第41回火の国まつり おてもやん総踊り参加



第25回九州マイクロサージャリー ワークショップ



JURYO FESTA2018

平成30年度 医療実績

診療科別患者数・紹介率

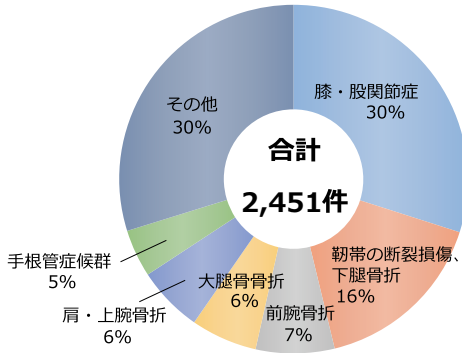
| | 外来（人） | | | 入院（人） | | 紹介率（%） （救急車含） |
|-------------------------|--------|---------|------|-------|------|------------------|
| | 新患 | 再診 | 1日平均 | 年合計 | 1日平均 | |
| 整形外科 | 13,074 | 55,291 | 236 | 2,444 | 200 | 16.3 |
| 形成外科・小児形成外科 | 1,319 | 7,761 | 31 | 444 | 14 | 42.6 |
| 脳神経内科・ リハビリテーション科・内科 | 2,338 | 14,598 | 58 | 642 | 112 | 53.0 |
| 循環器内科 | 658 | 11,467 | 42 | 353 | 17 | 64.5 |
| 血管外科 | 255 | 1,723 | 7 | 111 | 3 | 35.7 |
| 脳神経外科 | 124 | 3,791 | 14 | 163 | 9 | 31.5 |
| リウマチ科 | 16 | 1,518 | 5 | 7 | - | - |
| 救急科・外科 | 803 | 3,852 | 16 | 355 | 30 | 63.7 |
| 皮膚科 | 75 | 835 | 3 | 2 | - | 6.0 |
| 合計 | 18,662 | 100,836 | 412 | 4,521 | 385 | （平均）21.1 |

病棟種別 入院・退院経路

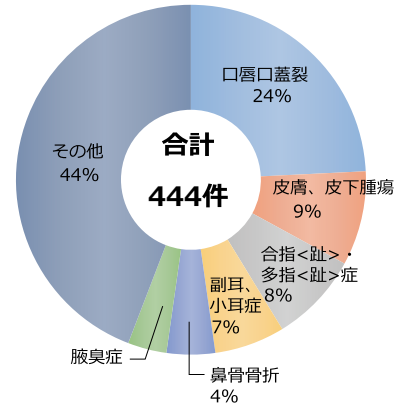
| 入院の経路 | 入院病棟 | | | | |
|-------------|-------|----------|--------------------|------------|-------|
| | 一般病棟 | 地域包括ケア病棟 | 回復期リハビリ テーション病棟 | 障害者施設等一般病棟 | 全体 |
| 外来より | 2,392 | 373 | 201 | 115 | 3,081 |
| 救急外来より | 382 | 129 | 168 | 9 | 688 |
| 転院 | 116 | 151 | 406 | 19 | 692 |
| 清雅苑より | 8 | 1 | 2 | 1 | 12 |
| その他の老健や施設より | 36 | 4 | 4 | 4 | 48 |
| | 2,934 | 658 | 781 | 148 | 4,521 |
| 退院の経路 | 退院病棟 | | | | |
| | 一般病棟 | 地域包括ケア病棟 | 回復期リハビリ テーション病棟 | 障害者施設等一般病棟 | 全体 |
| 在宅（外来-当院） | 2,562 | 507 | 580 | 110 | 3,759 |
| 在宅（外来-他院） | 100 | 104 | 62 | 6 | 272 |
| 転院 | 174 | 19 | 80 | 19 | 292 |
| 施設入所 | 69 | 28 | 59 | 8 | 164 |
| 死亡 | 29 | 0 | 0 | 5 | 34 |
| | 2,934 | 658 | 781 | 148 | 4,521 |

入院病名統計

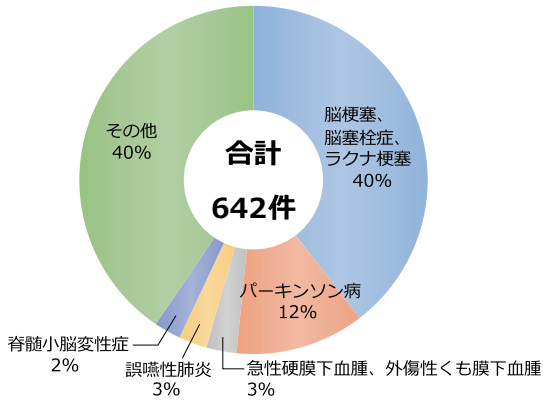
整形外科・リウマチ科



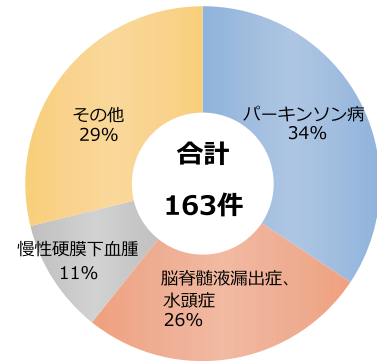
形成外科・小児形成外科・皮膚科



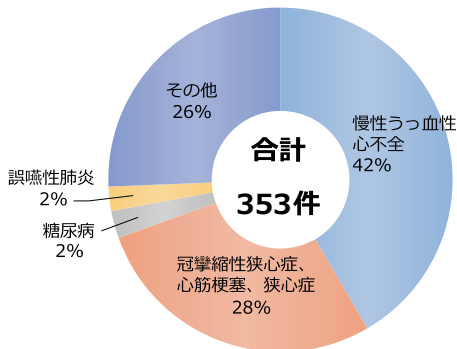
脳神経内科・リハビリテーション科・内科



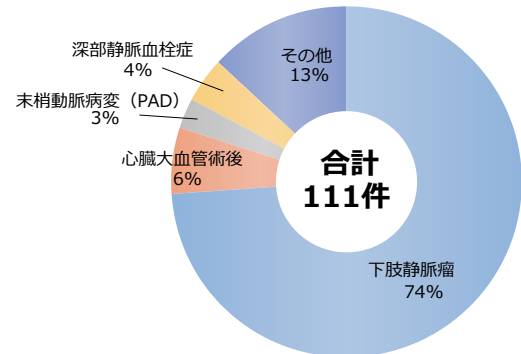
脳神経外科



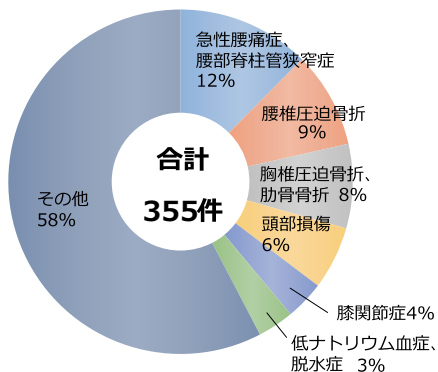
循環器内科



血管外科



救急科・外科



入院時 紹介元施設 患者割合 (上位30位)

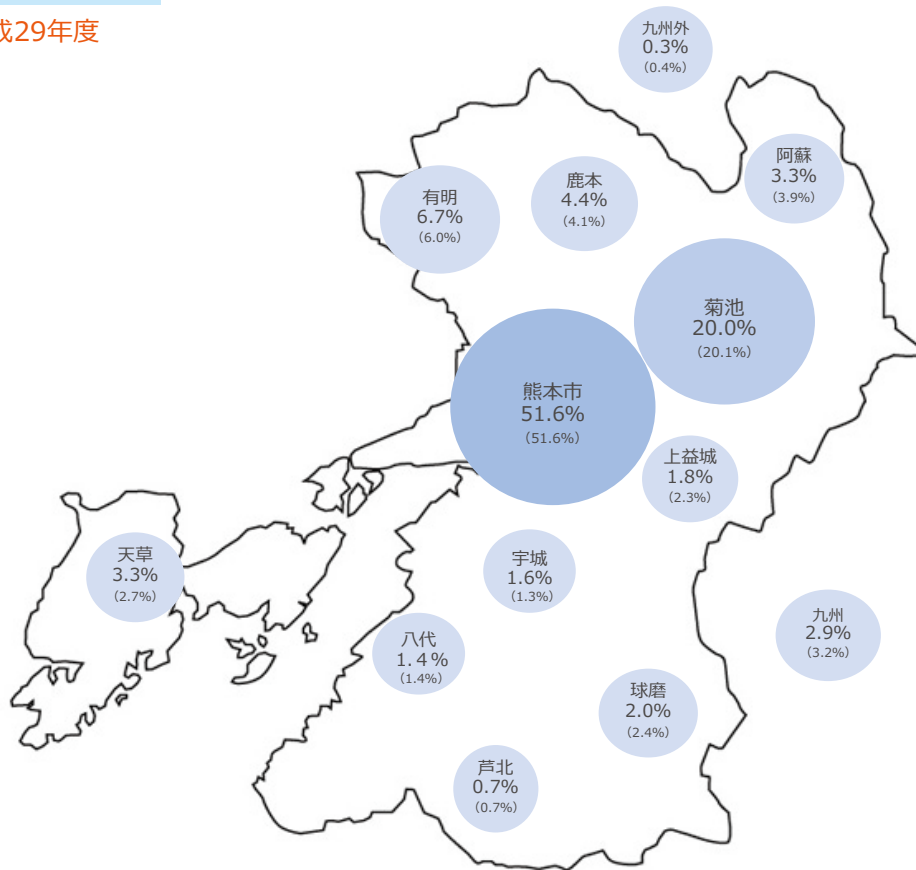
| | 医療機関 | H29 | H30 |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | 熊本医療センター | 13.4% | 13.5% |
| 2 | 熊本赤十字病院 | 11.3% | 10.9% |
| 3 | 熊本未来クリニック | 9.0% | 7.3% |
| 4 | 済生会熊本病院 | 4.0% | 4.1% |
| 5 | 熊本大学病院 | 3.1% | 3.4% |
| 6 | たぐち整形外科クリニック | 3.1% | 2.9% |
| 7 | 熊本整形外科病院 | 1.4% | 1.5% |
| 8 | なかがわ整形 | 2.0% | 1.4% |
| 9 | 熊本中央病院 | 1.1% | 1.2% |
| 10 | 産婦人科 福田病院 | 1.2% | 1.2% |
| 11 | 天草地域医療センター | 0.6% | 0.9% |
| 12 | 佐賀大学医学部附属病院 | 1.1% | 0.9% |
| 13 | 森田整形外科医院 | 0.5% | 0.8% |
| 14 | 清雅苑 | 0.6% | 0.8% |
| 15 | たつだ整形外科 | 0.3% | 0.7% |
| 16 | 熊本セントラル病院 | 0.4% | 0.7% |
| 17 | 小田整形外科 | 0.5% | 0.7% |
| 18 | 菊南病院 | 0.6% | 0.7% |
| 19 | 公立玉名中央病院 | 0.6% | 0.7% |
| 20 | 松永整形外科リウマチ科 | 0.4% | 0.7% |
| 21 | あらき循環器内科 | 0.1% | 0.6% |
| 22 | 松元整形・外科 | 0.8% | 0.6% |
| 23 | 大坂整形外科医院 | 0.1% | 0.6% |
| 24 | あさはら整形外科 | 0.6% | 0.5% |
| 25 | 城間整形外科 | 0.1% | 0.5% |
| 26 | アラキ整形外科 | 0.9% | 0.5% |
| 27 | 後藤整形外科医院 (菊池市) | 0.1% | 0.5% |
| 28 | 小国公立病院 | 0.2% | 0.5% |
| 29 | 朝日野総合病院 | 0.6% | 0.5% |
| 30 | 武蔵ヶ丘病院 | 0.4% | 0.5% |

退院時 紹介先施設 患者割合 (上位30位)

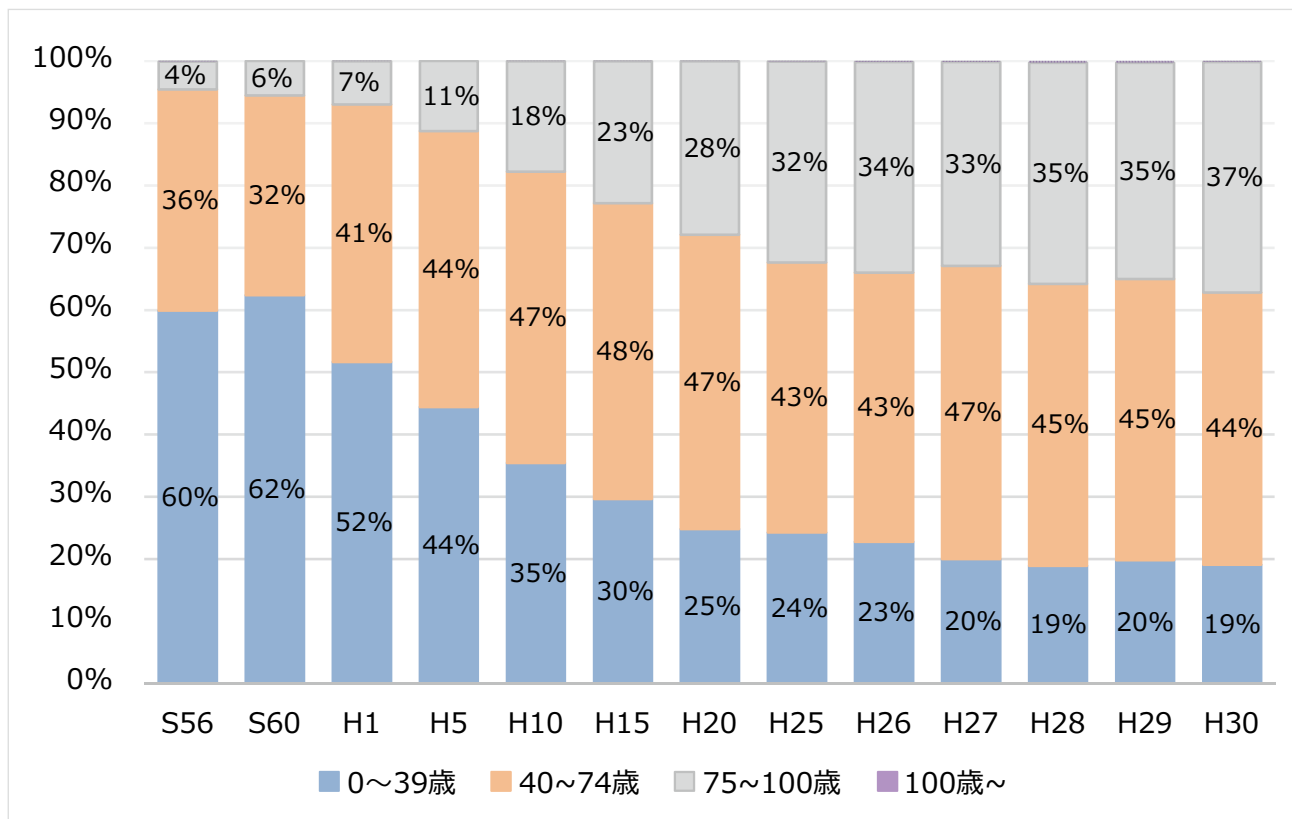
| | 医療機関 | H29 | H30 |
|----|-----------------|------|------|
| 1 | 熊本医療センター | 7.9% | 9.0% |
| 2 | 清雅苑 | 5.3% | 5.8% |
| 3 | 熊本赤十字病院 | 5.3% | 4.7% |
| 4 | 菊南病院 | 3.0% | 2.5% |
| 5 | 済生会熊本病院 | 2.3% | 2.2% |
| 6 | くまもと成城病院 | 0.4% | 2.0% |
| 7 | 桜の里 | 1.9% | 2.0% |
| 8 | 植木病院 | 0.8% | 2.0% |
| 9 | 熊本中央病院 | 1.7% | 1.3% |
| 10 | 合志第一病院 | 0.9% | 1.3% |
| 11 | 桜十字病院 | 0.2% | 1.3% |
| 12 | 青磁野リハビリテーション病院 | — | 1.3% |
| 13 | 中山記念病院 | 0.6% | 1.3% |
| 14 | 朝日野総合病院 | 0.4% | 1.3% |
| 15 | たぐち整形外科クリニック | 0.8% | 1.1% |
| 16 | 阿蘇温泉病院 | 1.3% | 1.1% |
| 17 | 熊本大学病院 | 2.3% | 1.1% |
| 18 | 熊本再春医療センター | 0.9% | 1.1% |
| 19 | 武蔵ヶ丘病院 | 0.6% | 1.1% |
| 20 | 北部病院 | 2.3% | 1.1% |
| 21 | 寺尾病院 | 0.6% | 0.9% |
| 22 | 田上病院 | 0.2% | 0.9% |
| 23 | 表参道吉田病院 | — | 0.9% |
| 24 | かじお温泉クリニック | 0.4% | 0.7% |
| 25 | 聖ヶ塔病院 | 0.6% | 0.7% |
| 26 | 天寿園 | 0.6% | 0.7% |
| 27 | 八景水谷クリニック | 0.4% | 0.7% |
| 28 | かなごぎ苑 | 0.8% | 0.5% |
| 29 | 下田内科クリニック | 0.6% | 0.5% |
| 30 | 山鹿温泉リハビリテーション病院 | 1.3% | 0.5% |

入院患者診療圏

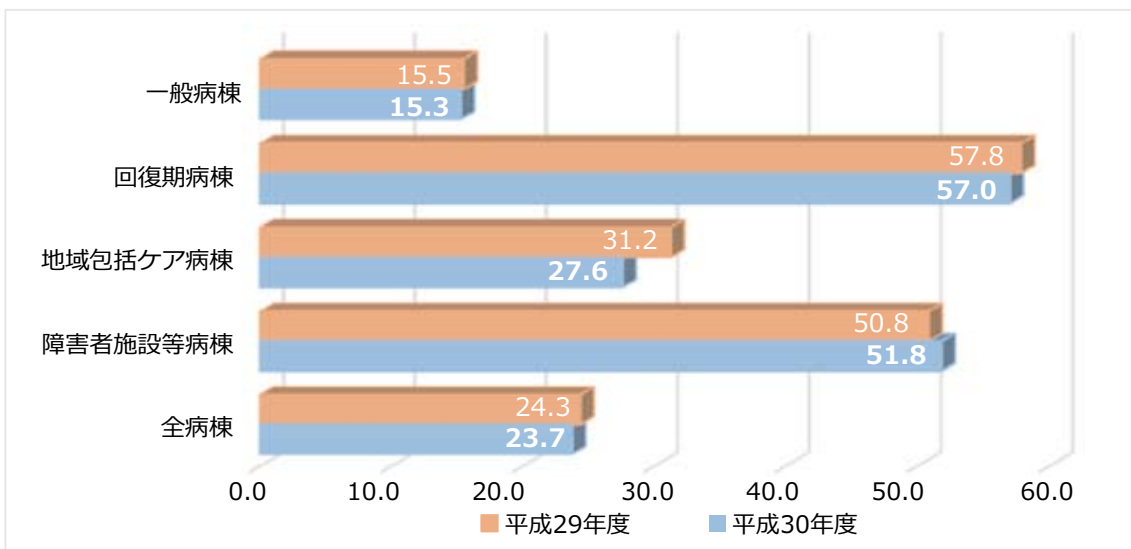
() 内は平成29年度



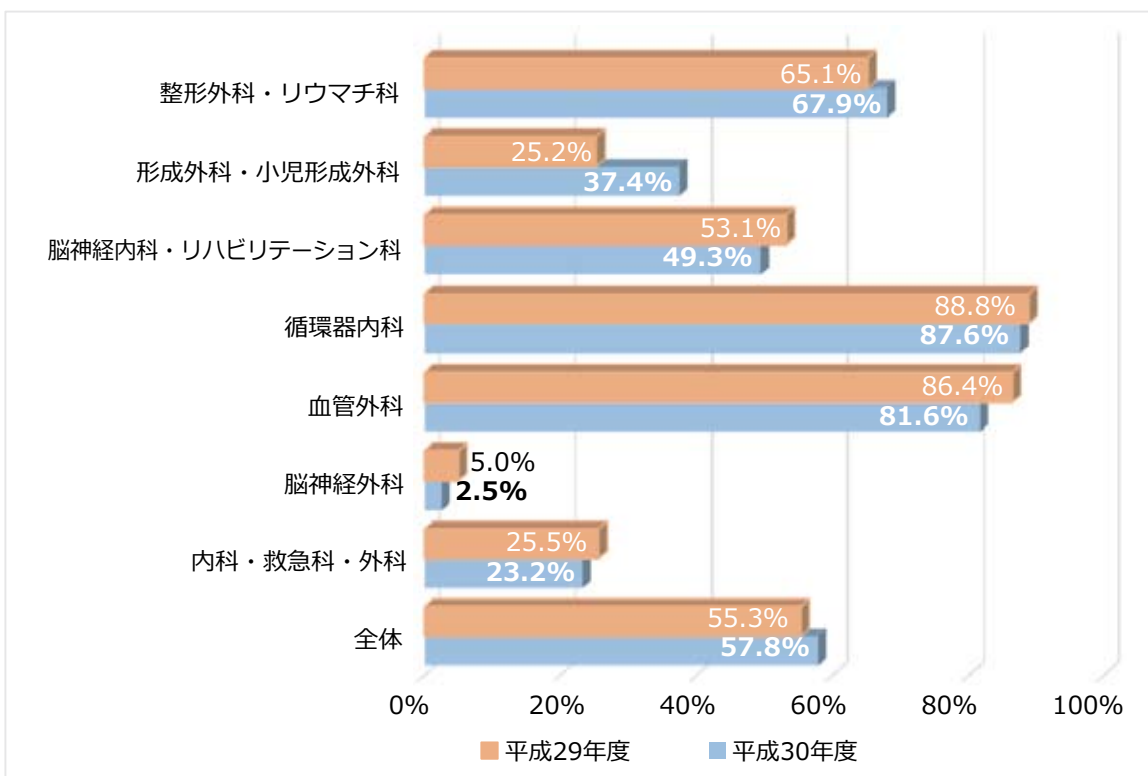
年度別 入院患者年齢層



平均在棟日数

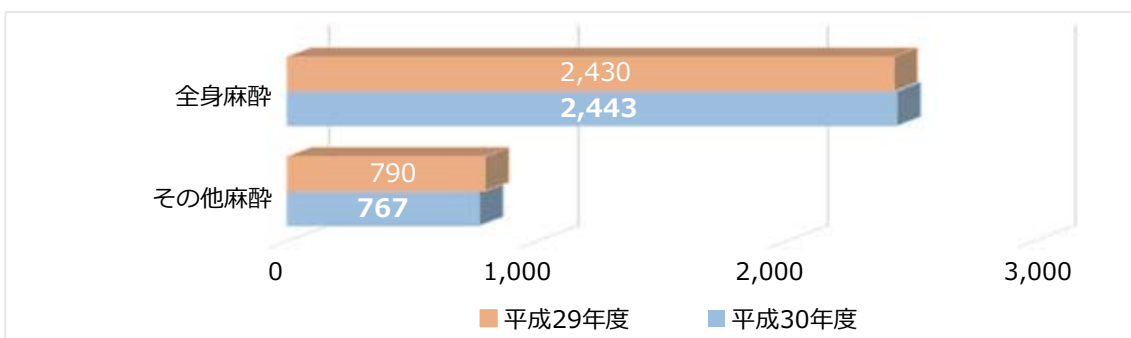


クリニカルパス運用率

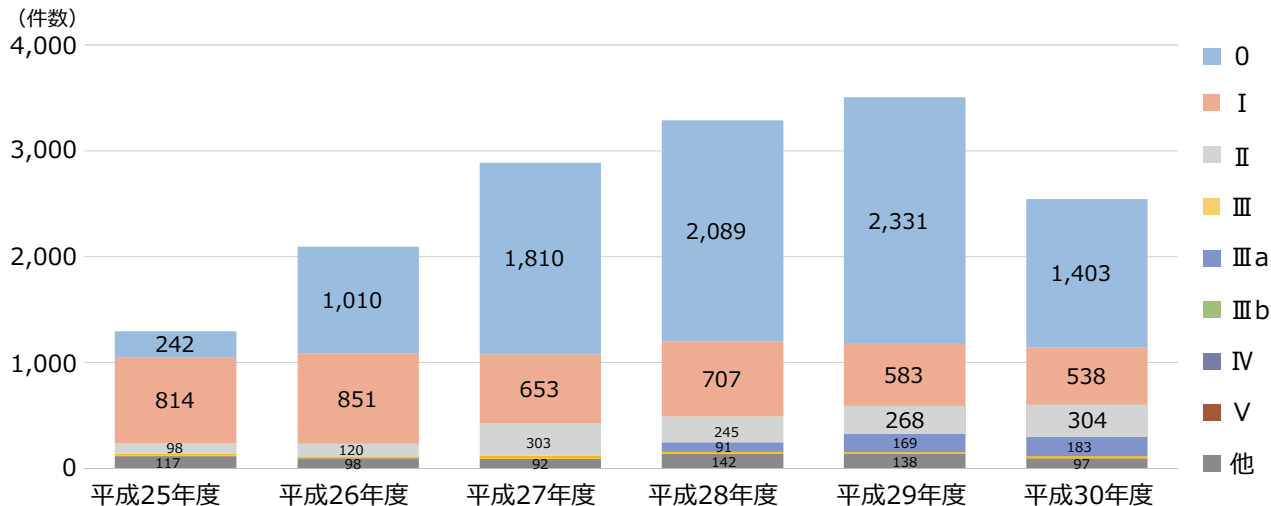


手術件数

※手術件数の詳細は各科にて記載



インシデント・アクシデント報告状況



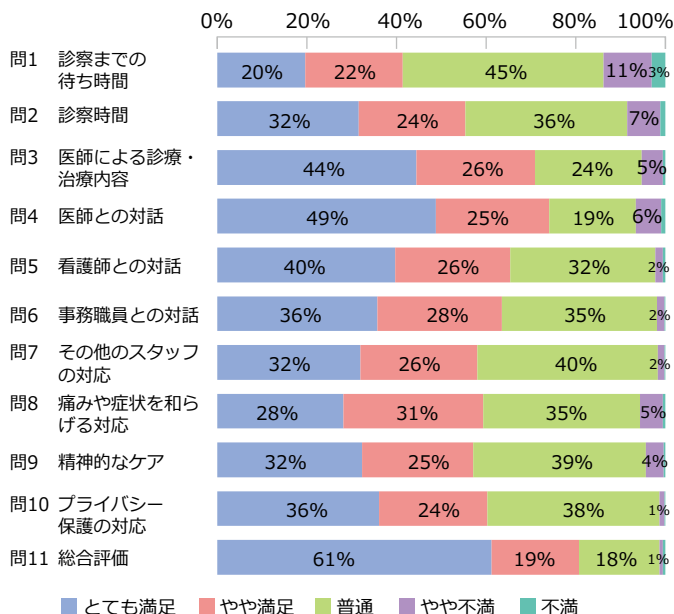
インシデント及びアクシデントの分類

| 分類 | 患者への影響度(事故区分) | 内容 |
|--------|---------------|---|
| インシデント | レベル0 (ヒヤリハット) | 仮に実施されていても患者への影響は小さかった (処置不要) 仮に実施されていた場合患者への影響は中等度 (処置が必要) 仮に実施されていた場合患者への影響は大きい (生命に影響する) |
| | レベルI | 実施されたが、患者への実害はなかった (何らかの影響を与えた可能性は否定できない) |
| | レベルII | 処置や治療は行わなかった (患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた) |
| アクシデント | レベルIIIa | 簡単な処置や治療を要した (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など) |
| | レベルIIIb | 濃厚な処置や治療を要した (バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など) |
| | レベルIV | 永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う |
| | レベルV | 死亡 (原疾患の自然経過によるものを除く) |
| その他 | | 患者が関わらない事例 |

患者満足度調査

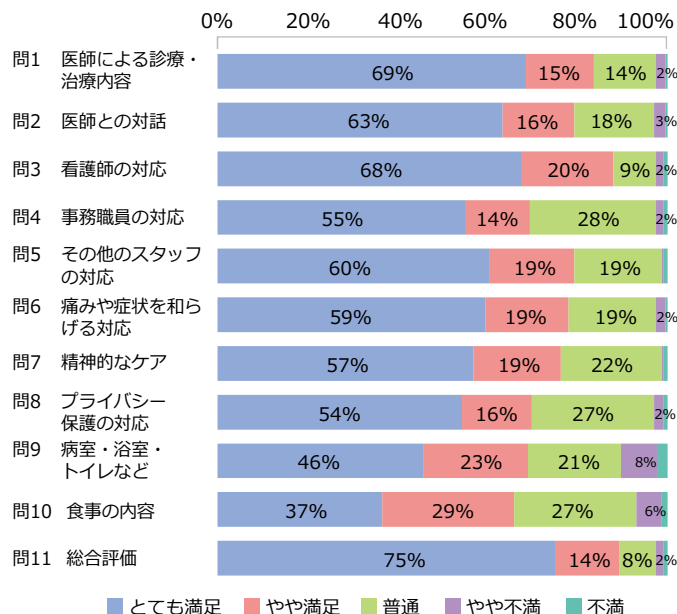
外来部門

実施日：平成30年11月12日～平成30年11月22日
患者数：529名



入院部門

調査期間：平成30年11月1日～平成30年11月30日
調査人数：232名



整形外科

専門性を活かして診療に取り組む

整形外科では、外傷から変性疾患まで、幅広い症例に対応しています。

特に人工股関節・膝関節、関節鏡を用いた手根管開放術、神経縫合を含むマイクロサージャリーなど専門性を生かした手術に取り組んでいます。また、救急外傷（指切断、開放骨折、大腿骨頸部骨折、圧迫骨折、神経損傷）の患者さんへの対応にも力をいれています。

手術後もリハビリテーションを早期から開始し、チーム体制で退院後の患者さんのQOL（生活の質）向上に努めます。



手術実績（上肢）

| 手術名 | H29 | H30 |
|--------------------------------|-----|-----|
| 手根管開放術（直視下・鏡視下） | 169 | 145 |
| 骨接合術 （橈骨遠位端・上腕骨近位端・肘関節周囲骨折） | 123 | 136 |
| 腱鞘開放術 | 151 | 160 |
| マイクロサージャリー（神経・血管）・再接着 | 22 | 24 |
| 肩関節鏡視下手術 | 26 | 31 |
| 肘部管開放術 | 23 | 20 |
| 肘・手関節鏡視下手術 | 9 | 7 |
| その他 | 447 | 434 |
| 合計 | 970 | 957 |

1日平均 外来患者数

236人
(うち初診 45人)

1日平均 入院患者数

200人

手術件数

2,381件

手術実績（下肢）

| 手術名 | H29 | H30 |
|---------------------|-------|-------|
| 膝関節鏡視下手術（半月板部分切除 含） | 234 | 220 |
| 人工膝関節置換術 | 297 | 320 |
| 人工股関節置換術 | 223 | 263 |
| 骨接合術（大腿骨転子部・大腿骨頸部） | 134 | 108 |
| 人工骨頭置換術（大腿骨頸部骨折） | 63 | 61 |
| 膝前十字靭帯再建術 | 52 | 55 |
| 人工股関節再置換術 | 9 | 12 |
| 人工膝関節再置換術 | 4 | 3 |
| その他 | 360 | 330 |
| 合計 | 1,376 | 1,372 |

手術実績（脊椎）

| 手術名 | H29 | H30 |
|--------|-----|-----|
| 脊椎固定術 | 7 | 21 |
| 椎間板摘出術 | 3 | 7 |
| 椎弓形成術 | 9 | 11 |
| 椎弓切除術 | 0 | 10 |
| その他 | 6 | 3 |
| 合計 | 25 | 52 |

医師



名誉院長・診療統括顧問

中根 惟武 (昭和45年卒)

専門分野

股関節・膝関節外科
(人工関節、関節鏡視下手術)
老人骨折・骨粗鬆症

資格・学会等

特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
日本整形外科学会 [専門医]
日本リハビリテーション医学会 [認定臨床医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



院長・切断指肢再接着センター長

中島 英親 (昭和46年卒)

専門分野

整形外科・形成外科・手外科
スポーツ外傷
マイクロサージャリー分野

資格・学会等

日本マイクロサージャリー学会 [名誉会員]
日本整形外科学会 [専門医/認定スポーツ医]
日本形成外科学会 [専門医]
日本手外科学会 [特別会員/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



高橋 修一郎 (昭和50年卒)

専門分野

膝関節外科

資格・学会等

日本整形外科学会 [専門医/認定スポーツ医]
日本体育協会 [公認スポーツドクター]



名誉副院長

重本 弘文 (昭和46年卒)

専門分野

リハビリテーション科
整形外科

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医]
日本整形外科学会 [専門医]
臨床義肢装具適合判定講習修了医
回復期専従医講習修了医



副院長・診療統括部長

寺本 憲市郎 (平成3年卒)

専門分野

手外科
機能再建外科
(マイクロサージャリーを含む)

資格・学会等

日本整形外科学会 [専門医]
日本手外科学会 [代議員/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



理事長補佐・人工関節センター長
臨床研究推進センター臨床研究支援室 室長

高橋 知幹 (平成9年卒)

専門分野

股関節・膝関節外科
人工関節置換術
骨切り術

資格・学会等

日本整形外科学会 [専門医]
日本組織移植学会 [認定医]
特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
指定難病医療費助成制度 [指定医]



関節外科部門長・骨粗しょう症センター長

清田 克彦 (平成7年卒)

専門分野

膝関節・股関節外科
運動器疼痛
骨粗鬆症

資格・学会等

特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会運営
委員会 個人情報管理責任者
日本整形外科学会 [専門医]
日本骨粗鬆症学会 [認定医]
日本組織移植学会 [認定医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



長井 卓志 (昭和60年卒)

専門分野

整形外科・手外科・スポーツ外傷
マイクロサージャリー分野

資格・学会等

日本整形外科学会 [専門医/認定スポーツ医]

医師



久保田 晃志 (平成4年卒)

専門分野 関節外科
膝関節・股関節外科

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



岡田 二郎 (平成4年卒)

専門分野 脊椎外科

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医/脊椎脊髄病医]
日本脊椎脊髄病学会 [指導医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



高井 聖子 (平成17年卒)

専門分野 整形外科
リハビリテーション

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]
日本骨粗鬆症学会 [認定医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



高井 浩和 (平成19年卒)

専門分野 人工関節 (膝関節・股関節)
四肢外傷 (骨折など)

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医/認定スポーツ医]
日本骨粗鬆症学会 [認定医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



宮地 有理 (平成11年卒)

専門分野 整形外科

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]
日本形成外科学会 [専門医]
麻酔科標榜医



新妻 学 (平成20年卒)

専門分野 整形外科
手外科
マイクロサージャリー

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]
日本整形外科学会認定
[運動器リハビリテーション医]
日本整形外科学会認定 [脊椎脊髄病医]



水田 和孝 (平成24年卒)

専門分野 人工関節
外傷
足の外科

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]

整形外科 非常勤医師

酒井 和裕

所属

健和会大手町病院

田口 学

所属

たぐち整形外科クリニック

米満 龍史

所属

熊本大学医学部附属病院

松元 敬

所属

松元整形・外科

形成外科・小児形成外科

機能だけでなく、見た目もより良い状態に

小児形成外科では「口唇口蓋裂」や「多合指症等の先天性疾患」といった疾患に対して、地域の産婦人科、小児科、皮膚科、整形外科等との診療連携を大切にし、早期からの適切な治療を心がけています。

小児領域の治療を行う一方で、加齢に伴う眼瞼下垂症の手術症例が増加しており、形成外科での治療によって、外見の改善だけでなく、術後に「視野が広がった」「肩こりが消失した」などの声が聴かれています。



手術実績

| 手術名 | H29 | H30 |
|-----------------|-----|-----|
| 皮膚皮下腫瘍摘出術 | 318 | 307 |
| 口唇口蓋裂形成術 | 106 | 116 |
| 多指（趾）症、合指（趾）症手術 | 29 | 34 |
| 眼瞼下垂症手術 | 26 | 24 |
| 癬痕（拘縮）形成術 | 12 | 14 |
| 顔面骨骨折手術 | 18 | 19 |
| 副耳（介）切除術 | 28 | 15 |
| 先天性耳瘻管摘出術 | 15 | 7 |
| 褥瘡、難治性皮膚潰瘍の手術 | 9 | 28 |
| 耳介形成術 | 5 | 8 |
| 腋臭症手術（皮弁法） | 23 | 13 |
| その他 | 51 | 37 |
| 合計 | 640 | 622 |

1日平均 外来患者数

31人

(うち初診 5人)

1日平均 入院患者数

14人

手術件数

622件

医師



国際唇裂口蓋裂センター長

小園 喜久夫 (昭和51年卒)

昭和大学医学部形成外科 兼任講師
中国広西医科大学 客員教授

専門分野

形成外科
小児形成外科
美容外科

資格・学会等

日本形成外科学会 [専門医/小児形成外科分野指導医/皮膚腫瘍外科指導医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



田邊 毅 (平成10年卒)

専門分野

先天異常・マイクロサージャリー
口唇口蓋裂

資格・学会等

日本形成外科学会 [評議員/専門医/小児形成外科分野指導医/皮膚腫瘍外科指導専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



中西 いずみ (平成21年卒)

専門分野

形成外科一般
手指の先天異常
足潰瘍の治療
爪疾患



坂本 佳奈 (平成24年卒)

専門分野

形成外科一般



水谷 望 (平成26年卒)

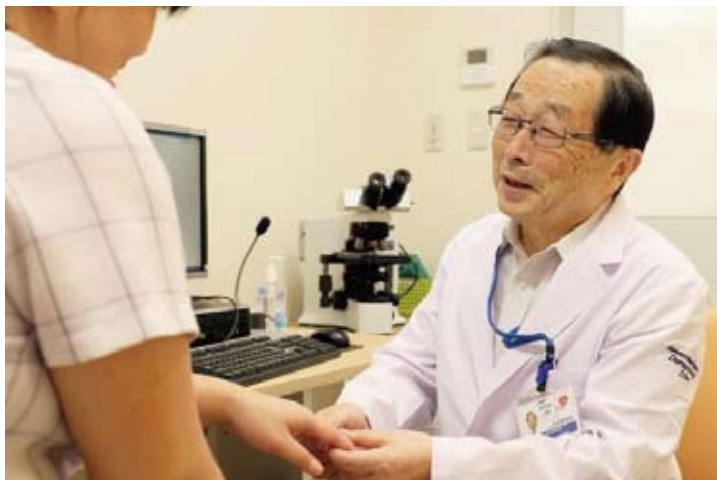
専門分野

形成外科一般

皮膚科

皮膚病理診断を治療に活かす

当院の顧問も務める皮膚科の小野医師は、日本皮膚病理組織学会の理事長、日本皮膚科学会の理事などを務めた経験もあり、治療方針や効果を確認するための皮膚病理診断を実際の治療に活かした診療を行います。



担当医師より

皮膚科の診療には殊の外、患者さんの日常生活の中に原因があることが少なくありません。

外来では、患者さんとお話しさせていただき、患者さんと一緒に皮膚病の原因探しをしていきたいと考えております。

美容部門

●脱毛には



メディオスターNeXT PRO
ダイオードレーザー脱毛機

●シミ・そばかす・くすみには



ライムライト
IPL光治療

●ハリを失った肌の改善（若返り）には



PRX-T33
コラーゲンピール

診療時間：月曜・水曜・木曜 13:00~17:00（最終受付15:30） 完全予約制 担当医：米満 文

医師



熊本機能病院 顧問
小野 友道（昭和41年卒）

専門分野 皮膚科

熊本大学 顧問・名誉教授
熊本保健科学大学 名誉教授

資格・学会等

日本皮膚科学会 [名誉会員/専門医]



米満 文（平成18年卒）

専門分野 皮膚科一般
美容皮膚科

急性期から在宅復帰まで一貫してサポート

脳神経内科では、たとえば、身体にしびれを感じたり、めまいがしたり、うまく力がはいらない、歩きにくいなどの症状に対し、障害が起きている部位や原因を特定し、治療を行います。

当院では脳神経内科と共にリハビリテーション科として、リハビリテーション専門医がリハビリスタッフ等と連携し、患者さんが当院にいらっしてからご自宅に帰られるまで、患者さんの状態に合わせたより適切なリハビリテーションの提供を行っています。



1日平均 外来患者数

59人

(うち初診 8人)

1日平均 入院患者数

112人

医師

リハビリテーション科



介護老人保健施設清雅苑 施設長・地域ケア支援センター センター長

山永 裕明 (昭和51年卒)

専門分野 脳神経内科
リハビリテーション医学

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医/指導医]
日本神経学会 [指導医/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



副院長

中西 亮二 (昭和54年卒)

専門分野 リハビリテーション医学
臨床神経生理学

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[指導医/専門医/認定臨床医]
日本臨床神経生理学会 [指導医/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



臨床研究推進センター センター長

木原 薫 (昭和55年卒)

専門分野 脳卒中
リハビリテーション

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]

脳神経内科



副院長

総合リハビリテーションセンター センター長

渡邊 進 (昭和57年卒) 熊本大学医学部医学科 臨床教授

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会 [専門医]
日本神経学会 [指導医/専門医]
日本脳卒中学会 [専門医/評議員]
日本内科学会 [認定医]
日本転倒予防学会 [評議員]
指定難病医療費助成制度 [指定医]
一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 理事

医師

脳神経内科



総合リハビリテーションセンター 副センター長

徳永 誠 (昭和63年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会九州地方会幹事
日本リハビリテーション医学会
[代議員/指導医/専門医]
日本神経学会 [指導医/専門医]
日本内科学会 [認定医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



桂 賢一 (平成10年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本リハビリテーション医学会
[指導医/専門医/認定臨床医]
日本神経学会 [指導医/専門医]
日本脳卒中学会 [専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]

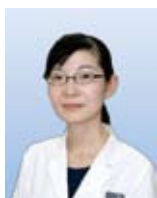


時里 香 (平成11年卒)

専門分野 脳神経内科
リハビリテーション

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医]
日本神経学会 [専門医]
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 [認定士]
日本医師会認定産業医
指定難病医療費助成制度 [指定医]



神経生理センター長

宮本 詩子 (平成15年卒)

専門分野 脳神経内科
臨床神経生理学

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本神経学会 [専門医/指導医]
日本臨床神経生理学会 [専門医/指導医]
日本リハビリテーション医学会 [認定医/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



中西 俊人 (平成21年卒)

専門分野 脳神経内科一般

資格・学会等

日本神経学会 [専門医]
日本内科学会 [認定医]



森 由紀子 (平成21年卒)

専門分野 脳神経内科

資格・学会等

日本神経学会 [専門医]
日本内科学会 [認定医]



本田 省二 (平成11年卒)

専門分野 脳卒中
リハビリテーション

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本神経学会 [指導医/専門医]
日本脳卒中学会 [評議員/専門医]
日本リハビリテーション医学会 [専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]

医師

脳神経内科 非常勤医師

松永 薫

所属

くまもと温石病院

内科



小川 尚 (昭和39年卒)

専門分野

味覚
脳活動の非侵襲性計測
味覚の客観的検査法の開発

内科 非常勤医師

中西 美智子

所属

水前寺とうや病院

竹迫 雅弘

所属

山鹿中央病院

2019年4月1日より、耳鼻咽喉科、消化器外科が加わり、
入院中の全身管理を充実してまいります

消化器外科



内野 良仁 (昭和54年卒)

専門分野

消化器外科

資格・学会等

日本外科学会[専門医/指導医]
日本消化器外科学会[専門医/指導医]
地域包括医療ケア[認定医]



耳鼻咽喉科



鮫島 靖浩 (昭和56年卒)

専門分野

耳鼻咽喉科

資格・学会等

日本嚥下医学会[評議員]
日本音声言語医学会[評議員]
日本口腔咽頭科学会[評議員]
日本耳鼻咽喉科学会[専門医/指導医/補聴器相談医]
日本アレルギー学会[専門医/指導医]
日本気管食道科学会[専門医]



循環器内科

研究結果を臨床に活かしていく

循環器内科では、心筋梗塞、狭心症、心不全、高血圧、メタボリック症候群を中心に幅広く取り組んでおり、救急から精査、予防リハビリを含め、一貫した治療を行っているのが特徴です。

血管外科、形成外科との連携を強め、「総合血管センター」を充実させ、下肢の閉塞性動脈硬化症や静脈血栓症、大動脈疾患などの疾患に対し、より専門的・的確な診療を行える体制を整えています。多くの専門スタッフが連携し、ご自宅に帰られてからの生活までを見据えて診療を提供いたします。

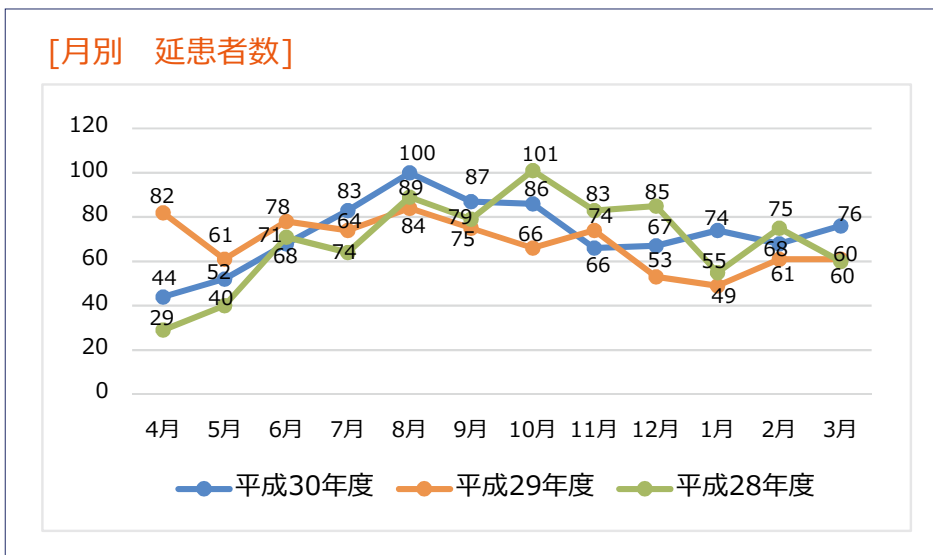


| | | |
|--|--|---|
|  1日平均 外来患者数 42人 |  1日平均 入院患者数 18人 |  ペースメーカー手術件数 19件 |
|--|--|---|

治療・検査実績

| その他 治療・検査実績 | H29 | H30 |
|---------------|-----|-----|
| 心臓カテーテル検査 | 135 | 134 |
| 経皮的冠動脈ステント留置術 | 14 | 13 |

| | |
|---|----------------------|
| 外来心臓リハビリテーション実績 (H30年4月～H31年3月) | 延人数871名 (2,611単位) |
|---|----------------------|



医師



熊本加齢医学研究所 所長

泰江 弘文 (昭和34年卒)

専門分野

循環器疾患・高血圧・糖尿病
内分泌疾患・肥満・生活習慣病

資格・学会等

日本内科学会 [名誉会員]
日本循環器学会 [特別会員]
日本心血管内分泌代謝学会 [名誉会員]



副院長

水野 雄二 (平成2年卒)

専門分野

心不全・高血圧
冠動脈カテーテル治療・禁煙活動
冠攣縮性狭心症
メタボリック症候群

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本循環器学会 [専門医]
日本高血圧学会 [指導医/専門医]
日本心血管内分泌代謝学会 [評議員]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



熊本健康・体づくりセンター 所長
臨床研究推進センター治験支援室 室長

原田 栄作 (平成4年卒)

専門分野

循環器科

資格・学会等

熊本県ラグビーフットボール協会医務委員
日本内科学会 [認定医]
日本循環器学会 [専門医]
日本体育協会 [公認スポーツドクター]
日本医師会 [認定健康スポーツ医]
熊本県体育協会 [スポーツ医科学専門委員]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



釘宮 史仁 (平成13年卒)

専門分野

循環器全般
(心臓カテーテル治療・心臓リハビリ等)

資格・学会等

日本内科学会 [総合内科専門医]
日本循環器学会 [専門医]
日本心血管インターベンション治療学会
[認定医]
日本心臓リハビリテーション学会 [指導士]

循環器内科 非常勤医師

庄野 信

所属

庄野循環器内科医院

血管外科

血管疾患をトータルに管理し、健康をサポート

主に末梢血管疾患（下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患）、静脈血栓塞栓症などを中心に、循環器内科、形成外科とも連携し、診断、治療を行います。また、心臓外科の経験を生かし、心臓大血管手術の周術期管理も行います。



スーパーバイザー
中島 昌道

手術実績

| 手術名 | H29 | H30 |
|---------|-----|-----|
| 下肢静脈瘤手術 | 81 | 82 |
| 血管内焼灼術 | 56 | 71 |
| 抜去切除術 | 25 | 11 |
| 末梢血管吻合術 | 8 | 7 |
| その他 | 2 | 7 |
| 合計 | 91 | 96 |

1日平均 外来患者数
7人

手術件数
96件

医師



萩原 正一郎 (平成2年卒)

専門分野

心臓血管外科全般
(特に末梢血管外科)

資格・学会等

日本外科学会[専門医/認定医]
日本脈管学会[専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
[下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医]

血管外科 非常勤医師

スーパーバイザー

中島 昌道

所属

熊本赤十字病院

リウマチ科

患者さんの生活を考慮した治療を

リウマチ科では、薬物療法により関節の痛みや腫れを抑える治療をはじめ、整形外科との連携により身体の機能回復に向けて、リハビリテーションを取り入れるなどして、患者さんのQOL（生活の質）を維持できるように努めております。



医師



工藤 博徳 (平成4年卒)

専門分野 リウマチ学・膠原病学・免疫学

資格・学会等 指定難病医療費助成制度 [指定医]

脳神経外科

患者さんの多様なニーズに応えられるように

脳神経外科では、脳をはじめ脊髄から末梢神経までの神経の病気や脳卒中などに伴う脳血管障害、及び外傷などの治療を取り扱います。

脳神経内科やリハビリなどの他部門との連携を行い、多様なニーズに応えられるよう診療を行っており、脳卒中や脳の病気の早期発見・予防、及び認知症の早期発見などのため、脳ドックを行っています。



手術実績

| 手術名 | H29 | H30 |
|-----------------------|-----|-----|
| 脳刺激装置交換術 | 61 | 66 |
| 穿頭血腫除去 | 15 | 9 |
| 水頭症手術 (VA・VPシャント術) | 7 | 5 |
| その他 | 11 | 4 |
| 合計 | 94 | 84 |

医師



江口 議八郎 (昭和57年卒)

専門分野 脳神経外科専門
頭痛専門

資格・学会等 日本脳神経外科学会[専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本頭痛学会[専門医]

24時間、やさしい救急医療を目指しています

救急科では、救急センターを中心として24時間体制で、診療を行っております。

当院の救急センターは救急専門医と各診療科の医師が連携し、患者さんにとってやさしく、専門性の高い救急医療の提供を目指しています。



1日平均 救急患者数
(救急センター)
20人

1日平均 入院患者数
30人

年間救急車数
H28 1,442台
H29 1,326台
H30 1,325台

ドクターヘリ受入
2件

救急外来受診疾患の内訳

| 外科系疾患 | 割合 |
|---------------------|--------|
| 手指切創・挫創、手指切断、手指骨折 | 16.4% |
| 頭部挫創・打撲、顔面挫創・打撲 | 11.4% |
| 膝部挫創・打撲、下腿打撲傷、膝関節捻挫 | 9.0% |
| 足関節捻挫、趾骨・中足骨骨折 | 8.5% |
| 橈骨遠位端骨折、肘関節捻挫・打撲傷 | 6.4% |
| 腰痛症、腰部脊柱管狭窄症 | 4.9% |
| 大腿骨転子部骨折、大腿骨頸部骨折 | 4.8% |
| 肘内障 | 4.6% |
| 鎖骨骨折、上腕骨骨折 | 4.6% |
| 腰椎圧迫骨折、腰部打撲傷 | 3.0% |
| その他 | 26.4% |
| | 100.0% |

| 内科系疾患 | 割合 |
|--------------|--------|
| インフルエンザ | 18.1% |
| 急性上気道炎、感冒 | 14.7% |
| 感染性胃腸炎、急性胃腸炎 | 6.4% |
| 心不全、不整脈 | 3.9% |
| 胸痛、動悸 | 3.4% |
| 頭痛 | 3.3% |
| めまい、意識障害 | 3.3% |
| 硬膜下血腫 | 3.2% |
| 熱中症 | 3.1% |
| 蜂刺症 | 2.3% |
| その他 | 38.3% |
| | 100.0% |

医師



救急センター長
赤坂 威史 (平成7年卒)

専門分野 救急診療、集中治療、麻酔

資格・学会等

日本麻酔科学会[指導医]
日本集中治療医学会[専門医]



理事長
米満 弘一郎 (平成12年卒)

専門分野 救急医療・外傷救急
集中治療・災害医療

資格・学会等

日本救急医学会[専門医]
日本集中治療医学会[専門医]
日本リハビリテーション医学会 [会員]
日本外科学会 [会員]
日本臨床内科医会 [会員]

外科 非常勤医師

門岡 康弘

所属

熊本大学医学部附属病院

放射線科
・
地域医療連携画像診断センター

迅速で正確な画像診断によって診療を支える

当院の放射線科ではCT、MRI、骨密度装置などを駆使し、迅速で正確な画像診断を行うために常に努力を続けています。

また、院内における検査に限らず、「地域医療連携画像診断センター」として、近隣医療機関からの検査依頼も受け付けており、幅広い疾患の検査を数多く行っています。



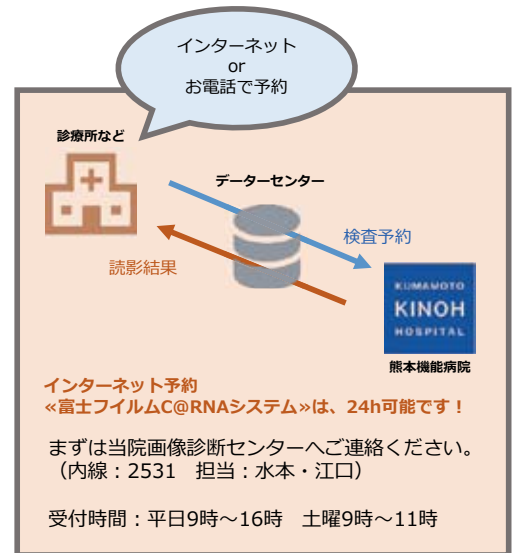
| | CT撮影件数 | MRI撮影件数 |
|-------------|--------|---------|
| 全件数 | 6,418件 | 5,276件 |
| うち外部からの依頼件数 | 142件 | 295件 |

当院では画像診断管理加算2も算定しています。専門医にて全件数を読影し、翌診療日までに主治医に報告する体制を整えています。

地域医療連携画像診断センター
画像診断サービスを提供しています

CT (造影、心臓血管3Dも可)
MRI (造影、MRCPも可)
骨密度測定装置をご利用いただけます。

- 専門医による読影結果を翌診療日までにオンラインで確認できます。
- 電話にて専門医と相談も可能です。(平日9時~16時まで)
- 検査結果について
 - 検査後の画像はCD-ROMで患者さんへ当日お渡し
 - 読影結果を翌診療日までにオンラインで報告



医師



中山 善晴 (平成7年卒) 熊本大学医学部医学科 臨床教授

専門分野 腹部・骨軟部画像診断学

資格・学会等 日本医学放射線学会[専門医/診断専門医]
日本放射線科専門医会[会員]
日本遠隔医療学会[会員]
オートプシー・イメージング学会[会員]



石塚 恵未 (平成15年卒)

専門分野 画像診断

資格・学会等 日本医学放射線学会
[専門医/診断専門医]

麻酔科

周術期患者安全の一翼を担う

平成28年以降、麻酔科管理件数はほぼ横ばいで推移しています。麻酔科としては余力を残している状況で、常に年間2,500件に安全に対応できる体制を堅持しています。また、平成31年4月より、麻酔科医でもある救急科の赤坂医師が火曜日午後に麻酔業務に従事する運びとなり、さらにマンパワーアップされます。

ところで、従来、人工膝・股関節手術後の鎮痛法として硬膜外ブロックを用いてきましたが、平成28年6月からそれに替えて、外科医主導の関節周囲浸潤鎮痛法を取り入れています。局麻薬にステロイドを添加することにより硬膜外鎮痛に近似の鎮痛効果が得られるのはもちろん、なんと申しまして患者さんが穿刺の恐怖感から解放されることで好評を得ています。さらに、これにより術後嘔気嘔吐の発症率が低下することがあきらかになりました。今後、調査結果を公表予定です。



実績

| | H29 | H30 |
|----------|-------|-------|
| 麻酔管理件数 | 2,435 | 2,453 |
| うち全身麻酔件数 | 2,430 | 2,443 |
| (全身麻酔率) | 99.8% | 99.6% |

| 偶発症合併症名 | 発生率 (%) |
|------------------------|---------|
| 吐き気・嘔吐 | 13.0 |
| 低血圧 (収縮期圧 70mmHg以下) | 11.8 |
| 不整脈 | 7.6 |
| のどの痛みや違和感 | 4.7 |
| 息こらえ (人工呼吸中の一時的な呼吸の異常) | 2.8 |
| 高度徐脈 (脈拍数 40拍/分以下) | 2.7 |
| 高血圧 (収縮期圧 200mmHg以上) | 2.2 |

医師



副院長
矢野 敏之 (昭和58年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会[指導医]



中山 良輔 (昭和62年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会 [指導医]
日本輸血細胞治療学会 [会員]
日本緩和医学学会 [会員]



今泉 隆志 (平成5年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会[指導医]



采田 千穂 (平成9年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会[指導医]



川本 和彦 (平成10年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会[指導医]

薬剤部

ミッションは医薬品の安全使用、適正使用の推進

病棟薬剤業務、薬剤管理指導業務、DI業務などに加えて、患者・医療スタッフへの教育・指導にも力を入れ、医薬品の安全使用、適正使用の推進に努めています。医薬品適正使用のための研究活動も積極的に行っており、熊本県病院薬剤師会優秀論文賞を受賞しました。昨年度より、ポリファーマシー、院内フォーミュラリーの推進への取り組みをはじめめています。



| | H28 | H29 | H30 |
|------------------------------|---------|---------|---------|
| 入院中の薬剤師による服薬支援件数 (薬剤管理指導) | 10,446件 | 11,775件 | 11,382件 |

全病棟に担当薬剤師を各1名配置し、患者さんに対して薬の説明・管理を行っています。

| 資格（令和元年6月現在） | 人数 |
|-------------------------------|----|
| 日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師 | 11 |
| JPALS認定薬剤師 | 1 |
| 日本薬剤師研修センター認定薬剤師 | 1 |
| 認定実務実習指導薬剤師 | 2 |
| 医療薬学会認定薬剤師 | 2 |
| 抗菌化学療法認定薬剤師 | 1 |
| 感染制御認定薬剤師 | 1 |
| 周術期管理チーム薬剤師 | 1 |
| 骨粗鬆症マネージャー | 1 |
| スポーツファーマシスト | 2 |
| ACLS、PALSプロバイダー | 1 |

チーム医療に貢献できるよう、専門分野の知識・技能を有する認定・専門薬剤師の育成にも積極的に取り組んでいます。

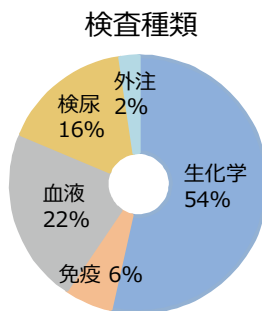
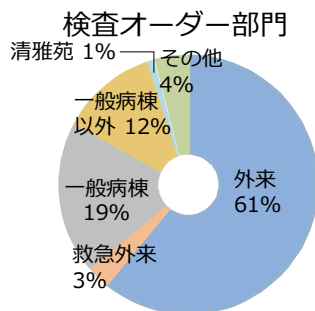
医学検査部

臨床検査課

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設」更新

「精度保証施設認証」とは、当院が提供する臨床検査のデータが「標準化され、かつ、精度が十分保証されていると評価できる施設」とであると認証されたものです。

看護師とともに臨床検査技師が採血やインフルエンザ検査の鼻腔採取を行い、迅速に正確な検査を提供します。



心臓生理検査課

急性期からリハビリりまでトータルでサポート

心臓生理検査課では、主に循環器、血管関連の生理検査を担当しています。心臓・血管超音波をはじめ、心肺運動負荷試験、血管年齢、睡眠時無呼吸などの検査結果から得られる情報を提供することで疾患の診断を補助しています。当院には、日本超音波医学会の認定超音波検査士（循環器）が在籍しており、精度の高い検査結果の提供に努めています。



地域に開かれた共同利用型の神経生理検査室

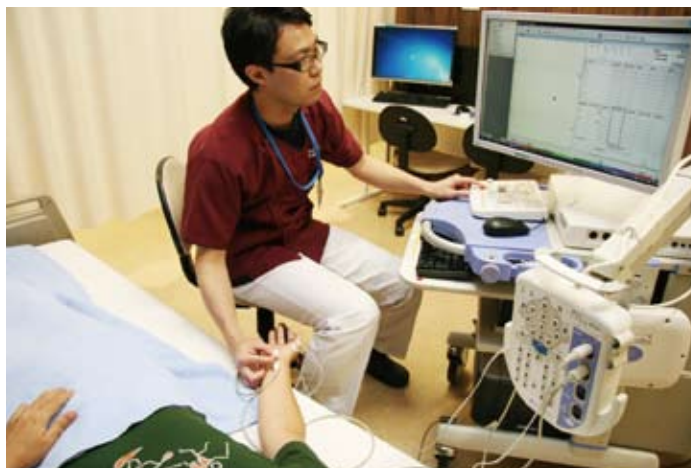
当院の神経生理センターは、神経伝導検査、筋電図、体性感覚誘発電位、運動誘発電位、脳波検査などの検査を日本臨床神経生理学会専門技術師と専門医が行っている、熊本県内でも数少ない共同利用型の神経生理検査室です。また、学生実習のみならず、他の施設からの研修も受け入れています。



検査実績

| | H29 | H30 |
|-------|--------|--------|
| 総検査件数 | 3,743件 | 3,881件 |
| 紹介施設数 | 139施設 | 128施設 |
| 紹介患者数 | 554人 | 509人 |
| 紹介率 | 29.5% | 27.1% |

所属技術師 4名のうち
日本臨床神経生理学会専門技術師 3名



検査実績

| 主な検査 | H29 | H30 |
|-----------------|--------|--------|
| 心エコー | 4,037件 | 4,278件 |
| トレッドミル | 30件 | 47件 |
| 血管超音波 | 1,006件 | 1,120件 |
| 心臓カテーテル（検査・治療） | 135件 | 134件 |
| ABI | 409件 | 510件 |
| CPX | 131件 | 129件 |
| ホルター心電図 | 284件 | 307件 |
| 安静心電図 | 7,379件 | 7,503件 |
| 肺機能 | 2,470件 | 2,428件 |
| 睡眠時無呼吸（簡易型・精査型） | 42件 | 45件 |
| 血管年齢（中心血圧測定：AI） | 497件 | 183件 |

栄養部

「楽しい食事」を目指して

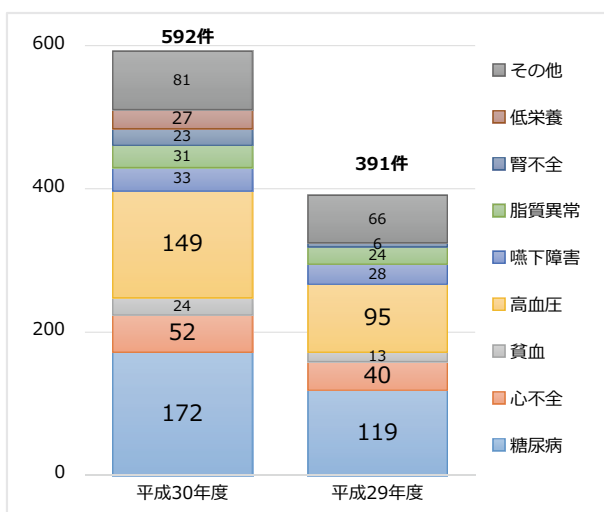
入院中の楽しみといえば食事。その気持ちにお応え出来るように、栄養部ではスタッフ一丸となって日々の食事作りに取り組んでいます。2018年度は、新たな取り組みとして“スープの日”を始めました。熊本県産の旬の食材を使い、最小限の調味料だけで素材の旨味を活かした季節を感じるスープ。普通食から嚥下食の方まで多くの患者さんに喜んでいただけるよう、心を込めて作っています。



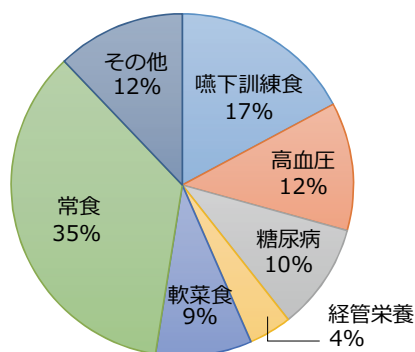
栄養指導の実績

| | H29 | H30 |
|------------|-------------|-------------|
| 栄養指導（加算）件数 | 695 (350) 件 | 908 (608) 件 |

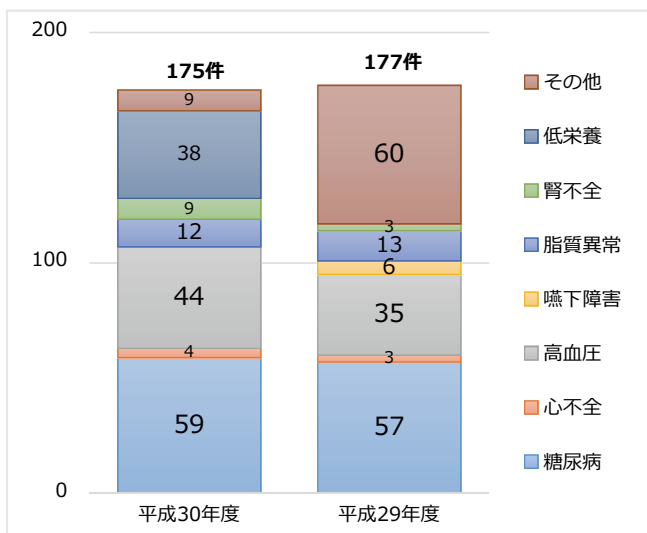
[入院個別栄養指導内訳]



[総給食数に対する治療食等の割合]



[外来個別栄養指導内訳]



資格

| 資格（令和元年7月現在） | 人数 |
|--------------|----|
| NST専門療法士 | 2 |
| 病態栄養認定管理栄養士 | 4 |
| 日本糖尿病療養指導士 | 5 |
| 骨粗鬆症マネージャー | 1 |
| 健康運動指導士 | 1 |

総合リハビリテーション部

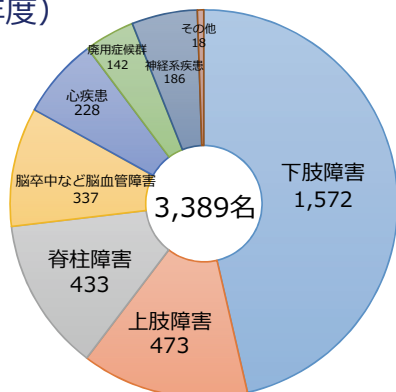
最高のリハサービスを目指します

1981年の開院時からリハビリテーション（リハ）部門を有し、リハ専門職だけでなく多職種でのチームワークによって「身体機能の回復」と「日常生活活動の向上」「復学・復職」「スポーツ復帰」などを目指し、常に最高のリハサービスの提供を目指してきました。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハの他、歯科衛生士もリハスタッフとして口腔・嚥下リハの一翼を担っています。



理学療法課・作業療法課・言語聴覚療法課

入院リハビリテーション対象患者疾患内訳 (平成30年度)



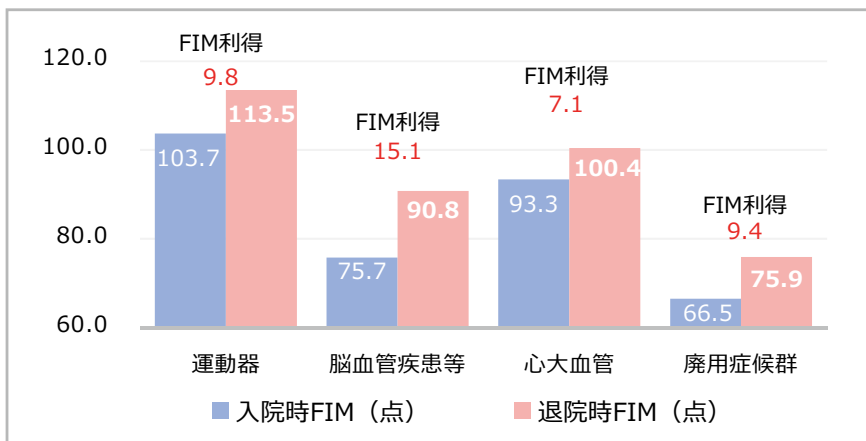
退院先

| 退院先 | 集計 |
|-----------|----------------|
| 自宅+居宅 | 2,995人 (88.4%) |
| 治療目的での転院 | 158人 (4.7%) |
| 介護老人保健施設 | 97人 (2.9%) |
| 療養型病院への転院 | 76人 (2.2%) |
| 他の回復期 | 34人 (1.0%) |
| 死亡 | 24人 (0.7%) |
| その他 | 5人 (0.1%) |
| 総計 | 3,389人 |

疾患別 患者内訳

| | 患者人数 | 平均年齢 | 平均在院日数 | 在宅復帰率 |
|-----------------|----------------|-------|--------|-------|
| 運動器リハビリテーション | 2,473人 (73.0%) | 64.3歳 | 33.1日 | 92.0% |
| 脳血管疾患等リハビリテーション | 541人 (16.0%) | 70.4歳 | 71.1日 | 80.2% |
| 心大血管リハビリテーション | 236人 (7.0%) | 80.3歳 | 26.3日 | 75.8% |
| 廃用症候群リハビリテーション | 139人 (4.1%) | 79.1歳 | 41.0日 | 77.0% |

疾患別リハビリテーション FIM利得



TOYOTAウェルウォークを導入しました

入院患者さんを対象に、脳卒中などによる下肢麻痺のリハビリテーション支援を目的としたロボット「ウェルウォーク」を導入しました。患者さんに合わせた難易度の調整や、歩行状態のフィードバック機能など、運動学習理論に基づいた様々なリハビリテーション支援機能を備えています。

歩行状態を前方モニターで確認することができ、麻痺側に装着したロボット脚などにより、下肢の振り出しのアシスト量を調整しながら歩行練習が行えます。また、転倒防止機能が備わっていますので、重度の下肢麻痺を呈した方でも、転倒することなく連続した歩行練習が可能です。



総合リハビリテーションセンター
副センター長 徳永 誠
(脳神経内科・リハビリテーション科)



口腔リハ課

| | 口腔ケア依頼件数（延人数） |
|--------|---------------|
| 熊本機能病院 | 551件（6,694件） |

関連施設への口腔ケア介入実施件数

| | 介入人数（月人数） |
|-----|---------------|
| 清雅苑 | 664人（55.3人/月） |
| 天寿園 | 336人（28人/月） |



H30 実習生受入状況

| 実習・研修受入 | 人数 |
|---------|----|
| 歯科衛生士 | 10 |

資格

| 資格 | 人数 |
|-------------|----|
| 摂食嚥下認定歯科衛生士 | 1 |
| 在宅療養認定歯科衛生士 | 1 |

訪問歯科連携センター

熊本医科歯科病診連携事業として地域の歯科医院と連携

| 認定看護師種別 | H29 | H30 |
|---------|--------|--------|
| 訪問歯科延人数 | 1,195名 | 1,218名 |
| 登録歯科医院 | 81件 | 97件 |
| 実稼働歯科医院 | 47件 | 47件 |

看護部

院内から地域へ

～認定看護師や専門的知識を持つ看護師が院内・院外で活躍しています～

- ・認定看護師、ICLSインストラクターなどのプロフェッショナル看護師の活躍
- ・院内だけではなく、地域でも活躍できる看護師をサポート



主な取り組み

《院内院外で活躍する看護師》

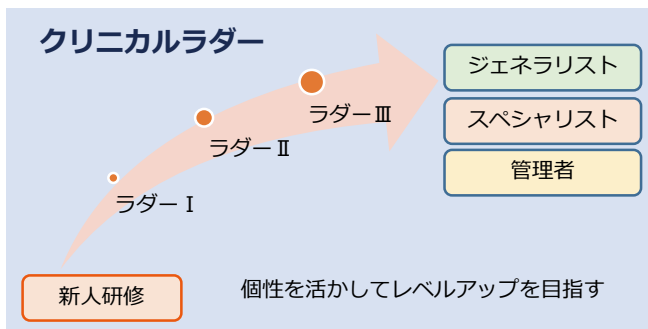
禁煙指導認定看護師：学校や様々な企業へ「禁煙」に関する研修を行い、地域の予防活動に貢献しています

摂食嚥下認定看護師：患者さんが口から食べられる喜びを取り戻すため多職種で取り組んでいます

認知症看護認定看護師：多職種による認知症ケアラウンドを通し、認知症ケアへのアドバイスを行っています

院内教育・研修

患者さんの心と身体の痛みに寄り添い
痛みを緩和するための質の高い看護が提供できる
優しい看護師を育成しています



認定看護師等の資格取得状況

| 資格（令和元年4月現在） | 人数 |
|---------------------|-----|
| 認定看護管理者 | 1名 |
| 認知症看護認定看護師 | 1名 |
| 感染管理認定看護師 | 2名 |
| 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 | 2名 |
| 摂食・嚥下障害看護認定看護師 | 2名 |
| 日本禁煙学会 専門指導看護師 | 1名 |
| 回復期リハビリテーション看護師 | 7名 |
| 自己血輸血認定看護師 | 2名 |
| 糖尿病療養指導士 | 3名 |
| ACLS取得者 | 12名 |
| ICLS取得者 | 16名 |
| 骨粗鬆症マネージャー | 2名 |

実習・研修受入状況

- ・看護大学、専門学校からの実習受入
(平成30年度実績：227名)
- ・潜在看護師再就業支援
- ・高校生の一日看護体験、インターンシップ受入
(熊本県からの委託事業・各学校からの受入)

働きやすい、働き続けられる環境づくり

- ・事業所内保育所「なないろ森の保育園」を併設しており、働きやすい環境を整備
- ・育児短時間勤務制度など多様な働き方を導入

医療安全管理部門

医療の安全を守る専門スタッフ

当院は、医療安全管理部門として、医療安全管理室、院内感染管理室、医療機器安全管理室という3つの部署を設置しており、それぞれの専門スタッフが医療の安全を守る取り組みを行っています。



医療安全管理室



院内感染管理室



医療機器安全管理室

医療安全管理室

- ・インシデント・アクシデント/ヒヤリハット事例を収集・分析、改善への取り組み
 - ・全職員対象の教育研修や急変時対応研修、新入職員を対象にした「チームSTEPPS」研修
 - ・医療安全推進のための活動
「医療安全推進週間」(5月、11月)
 - ◎医療安全全体研修会
 - ◎院内パトロール(医療安全管理委員会/推進部会合同)
院内ラウンド(医療安全推進部会、転倒転落予防WGによる実施状況の確認・評価)
 - ・医療安全部門カンファレンス(週1回)
- 患者さんと職員の安全・安心を目標に、医療安全の質向上を目指しています。



「医療安全推進強化週間」院内パトロール



急変時対応研修スタッフ

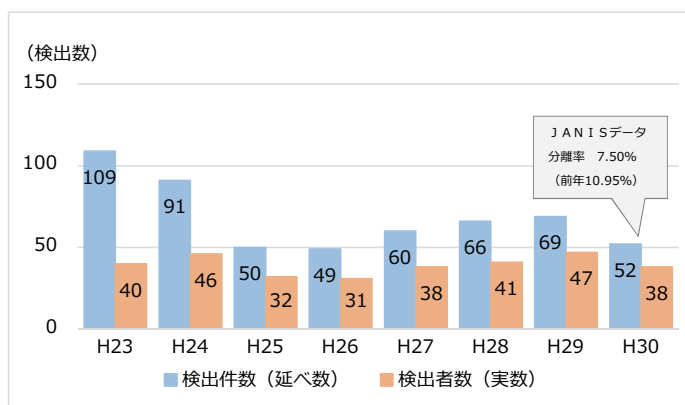


「チームSTEPPS」研修

院内感染管理室

- ・アルコール手指消毒薬の使用量調査とフィードバック
- ・院内ラウンドの実施
 - ◎感染対策の実施状況ラウンドを月1回実施
 - ◎感染症患者ラウンド(耐性菌検出・発熱・嘔吐・下痢症状)を月1回実施
- ・医療関連サーベイランス(耐性菌、発熱・嘔吐・下痢症状、SSI)を実施し、日常的な感染症発生状況の把握と、院内感染の防止に努める
- ・スタッフ教育の充実
 - ◎実施研修:手指衛生78回、インフルエンザ・感染性胃腸炎68回実施
 - ◎全体研修:研修会を年2回実施し、e-ラーニングシステムを使用し研修率100%を達成
- ・職業感染対策として、B型肝炎ワクチン・小児ウイルス疾患ワクチン接種を実施

過去8年間のMRSA検出数の推移

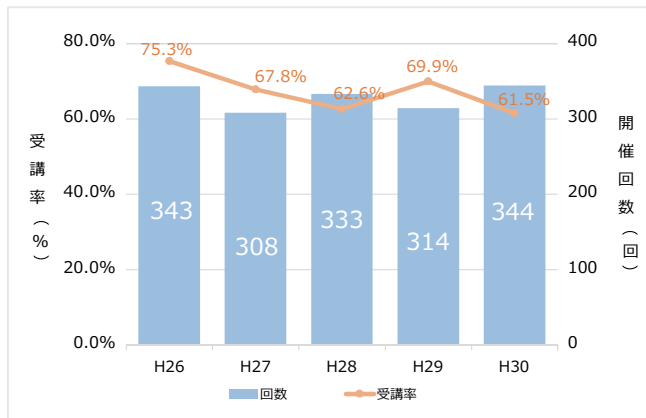


医療機器安全管理室

- ・医療機器取扱いに関するハンズオントレーニングセミナー実施（344回）
- ・特定職管理医療機器の点検実施
- ・医療機器の貸し出し稼働率の適正化
- ・医療機器適正使用に向けての情報提供



ハンズオントレーニングセミナー実施状況



医療連携部

医療・介護・福祉の連携強化をはかる

当院では、療養に伴う様々な不安や心配ごと等について、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が福祉の立場から、患者さんやご家族のご相談に応じて問題解決のお手伝いをいたします。



医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の病棟業務

入院初期から患者さんが自分らしい生活を続けていくための様々なサービスの利用や方法を一緒に考えさせていただきます。
患者さん・ご家族・病棟退院支援看護師・退院支援専従看護師・ソーシャルワーカーにてカンファレンスを実施しています。

【入院時支援加算】平成30年度 62件
【入退院支援加算1】平成30年度 1,236件

◆在宅サービスとの連携
患者さん・ご家族の抱えるニーズを把握し、問題の解決を図るため、様々な関係機関・関係施設と密な調整・連携を行っています。
担当会議や在宅訪問等の在宅スタッフとの連携は回復期病棟・地域包括ケア病棟・障害者施設等一般病棟・一般病棟の順に実施件数が多く、在宅復帰へ向けてより入念な連携を行っています。

【介護支援連携指導料】平成30年度 104件
【退院時共同指導料2】平成30年度 8件

| 8:30～ | 9:00～ | 10:00～ | 11:00～ | 12:10～ | 13:00～ | 16:00～ | 17:00 |
|------------------|----------------|--------|--------------------------|--------|--------|-----------------------|-----------------|
| 朝礼 部署内 ミーティング | 多職種 カンファレンス | 担当会議 | インテーク 退院支援 カンファレンス | 昼食 | 住宅訪問 | 患者家族 カンファレンス 同席 | 電子カルテ・ MSW記録 |

退院後の生活について検討し、介護保険サービス等の利用調整を行います。
ケアマネジャーを始めとする在宅スタッフが参加します。

入院して間もない患者さん・ご家族から、入院前の生活状況や退院後の生活に関する意向などお話を伺い、様々な方法を一緒に考えさせていただきます。

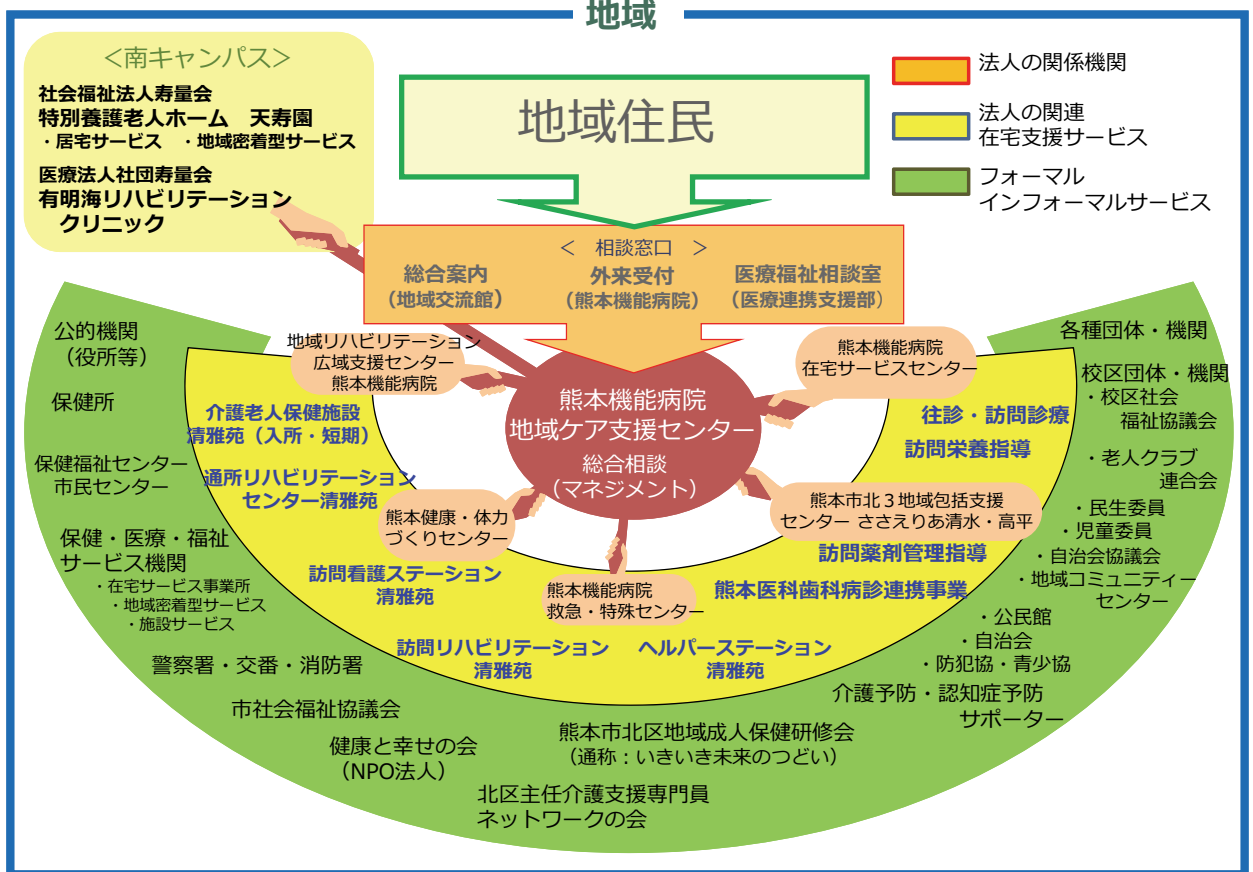
患者さんが円滑に在宅生活を送ることができるよう、関係スタッフ(理学療法士・作業療法士・ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・福祉用具業者等)が自宅を訪問し、住環境の把握から自宅での動作指導・生活指導やご家族への介護指導および福祉用具の選定・住宅改修の提案を行います。

※上記スケジュールの合間に電話相談や患者さん・ご家族との面談も実施しています。

さまざまな施設と連携し、地域ケアを実現する

清雅苑は、1988年10月に熊本県第1号の老健施設として開設しました。要介護状態にある方に専門性の高いリハビリテーション・ケアを提供し、在宅復帰を積極的に進めるとともに、在宅復帰後の生活を地域ケア支援センター（在宅サービスの総合相談窓口）と連携して実施しています。

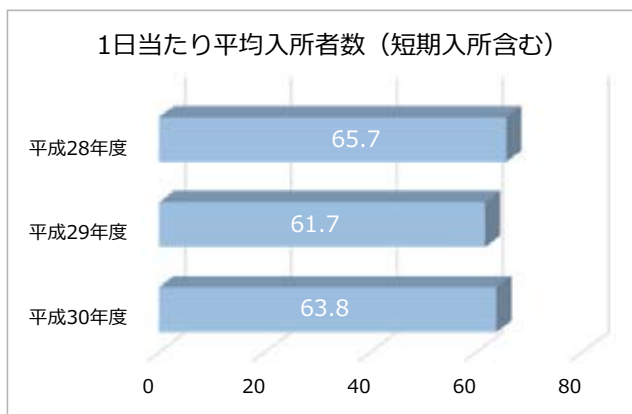
地域ケア支援センターを中心とした地域ケアサポートシステム



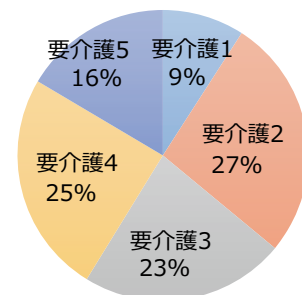
介護老人保健施設 清雅苑 (在宅超強化型老健)

高い在宅復帰率を誇り、全国で15%未満しかない在宅超強化型老人保健施設を維持しています。

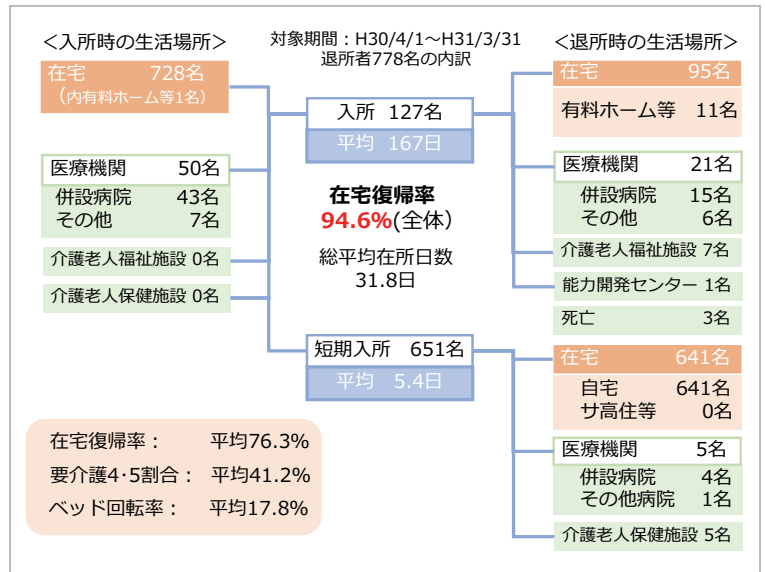
多職種協働により常に在宅生活を意識した、リハビリテーション・ケアをご利用者の状態像に合わせ提供しています。



[要介護度分布]

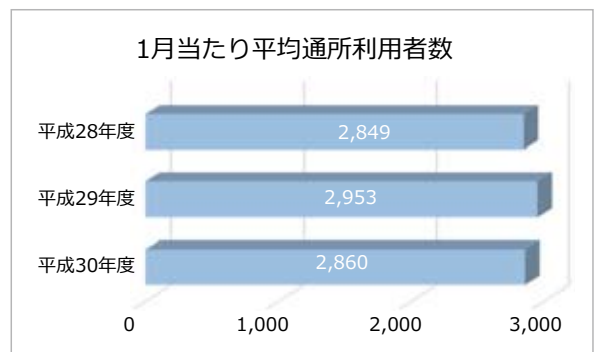


清雅苑入所者の流れ

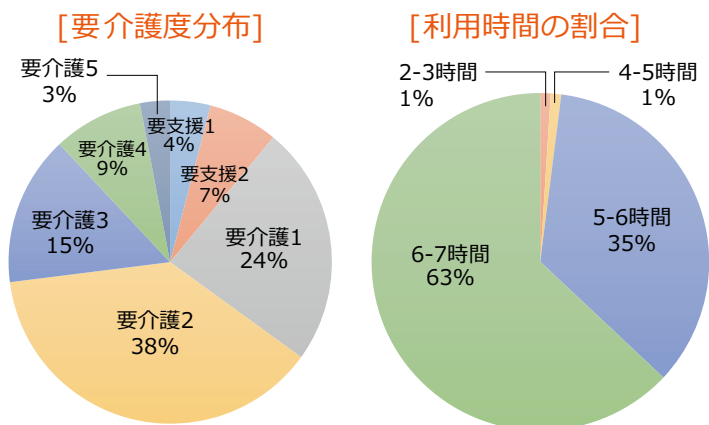


通所リハビリテーション

できるだけ自立し活動的な在宅生活が送れるように、充実した専門職が、医師の医学的管理に基づいて質の高いリハビリテーション・ケアを提供します。リハビリの提供プロセスを管理するリハビリテーションマネジメントも、最もグレードが高いリハビリマネジメントを99%取得しています。



通所リハビリ利用者のデータ

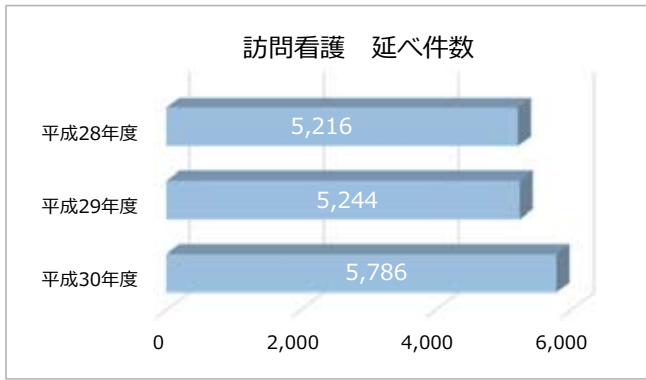


訪問サービス

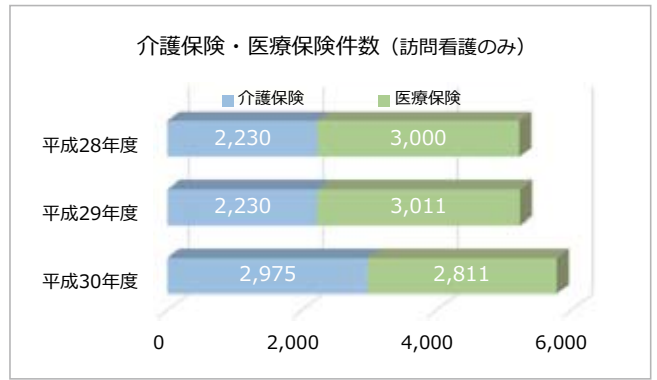
訪問看護

小児から高齢者まで幅広く対応しています。医療ケアの他、地域のクリニックの先生からの依頼でターミナルの患者さんを受け入れ、在宅生活が安心して送れるよう、緊急体制、定期訪問、臨時訪問がいつでも可能な体制をとっています。

併設病院からの退院後の難病の患者さんは入院中より医療連携部と連携しながら、情報を共有し、スムーズに在宅へ移行できるよう支援しています。医療保険も対応しています。

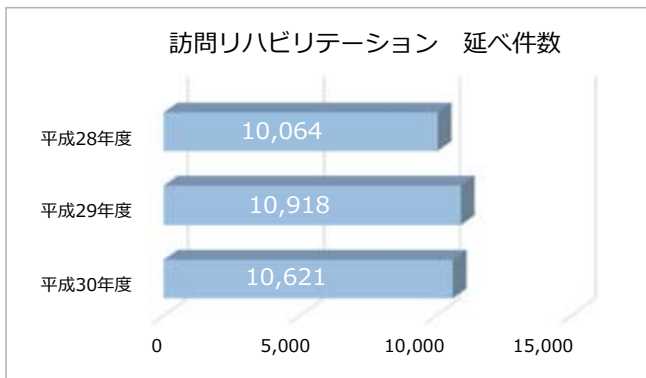


※上記数値は訪問看護ステーションの看護のみ

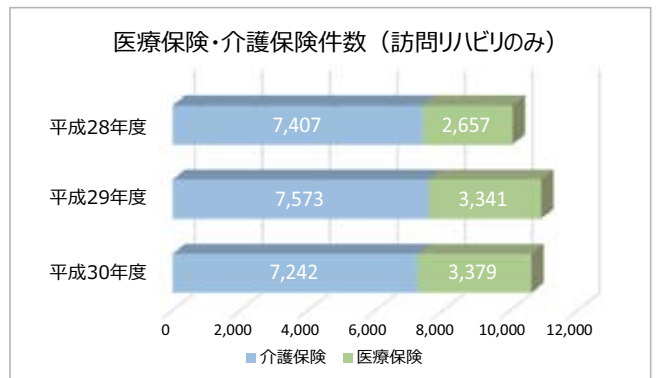


訪問リハビリ

退院・退所後及び在宅で生活機能が低下した方の心身機能の維持向上、生活の自立、地域参加を目指し、状態像に合わせたリハビリを実施します。

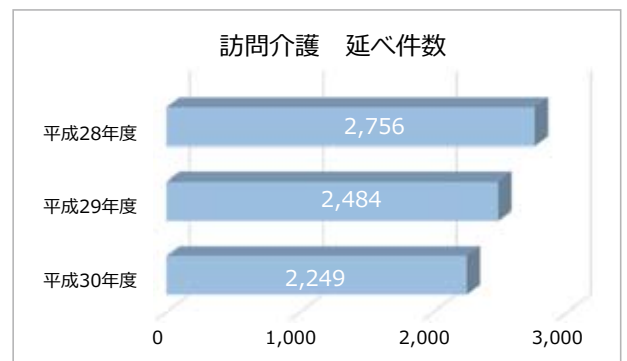


※ 上記数値は、訪問看護ステーションからのリハビリ+老健からのリハビリ



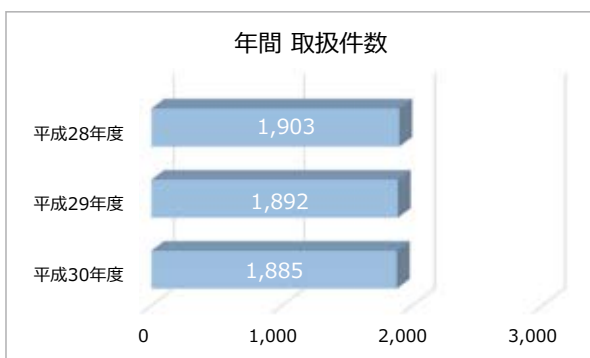
訪問介護

併設の訪問看護ステーションと連携し、利用者へサービスの提供を行っております。中重度者を積極的に受け入れ、熊本市北区を中心とした訪問介護を実施しています。

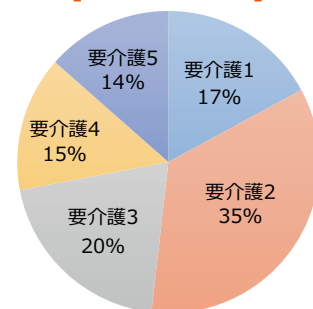


居宅介護支援事業所 熊本機能病院在宅サービスセンター

熊本機能病院、介護老人保健施設清雅苑相談室、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリなどのスタッフと適切な連携を取りながら利用者及び、その家族に応じたきめ細やかなサービスを提供しています。



[要介護度分布]



| | |
|---------|------------------------|
| 介護支援専門員 | 7名（専従 4名・兼務 3名） |
| 基礎資格 | 保健師 看護師 社会福祉士 介護福祉士 |



厚生労働大臣認定
健康増進施設 指定運動療法施設

スポーツ選手から高齢者まで、体カづくりを専門的にサポート

熊本健康・体カづくりセンターは、厚生労働大臣認定の健康増進施設指定運動療法施設です。当センターは、スポーツ選手のみならず、一般の方の体カづくりに必要なプログラムを専門的に提供する施設です。身体的側面だけでなく、心理面、栄養面（メンタルトレーニングや食事メニュー作成）からもそれぞれの専門知識、資格を有するトレーナーがサポートに当たります。



主な取り組み

- ・ 外来心臓リハビリテーションを熊本機能病院と連携して実施

【介護予防事業】

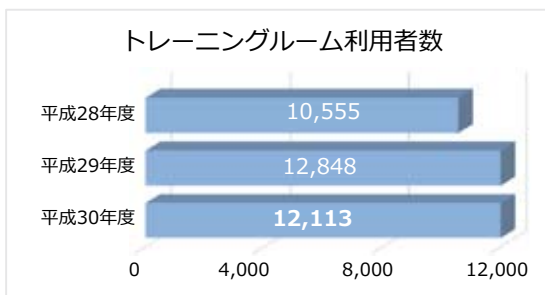
大津町、五木村、菊池市、山鹿市、宇城市、熊本市

【スポーツ事業】

鹿本高校、熊本国府高校、済々黌高校、九州東海大学
熊本北高校、ルーテル高校、再春館製薬

【メディカルチェック】

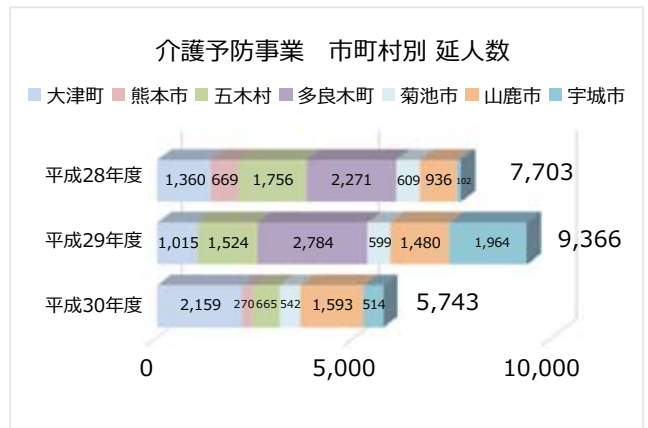
コアッソ熊本、大津高等学校



教育・研修

セミナー主催

- ・ メディカルフィットネスセミナー
2回/年 開催



ホームページでブログも書いています。



タブレット、スマートフォンにも対応しています。

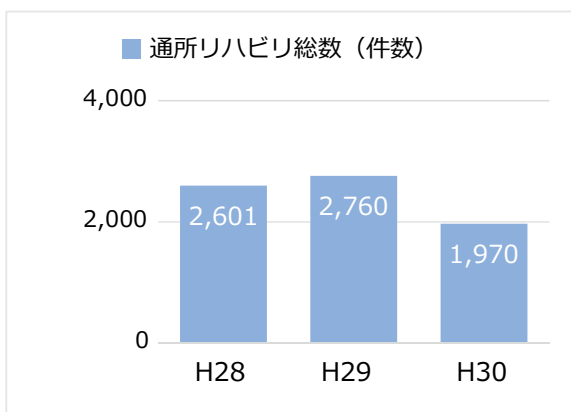
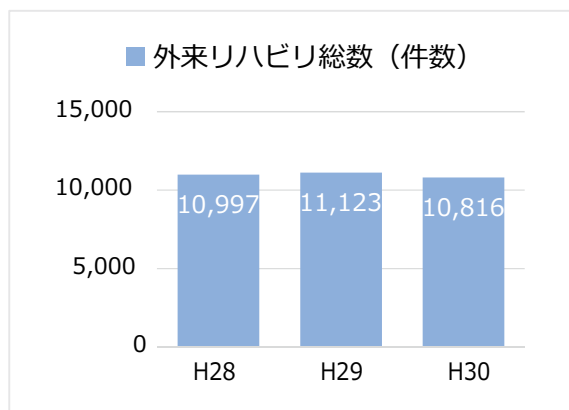
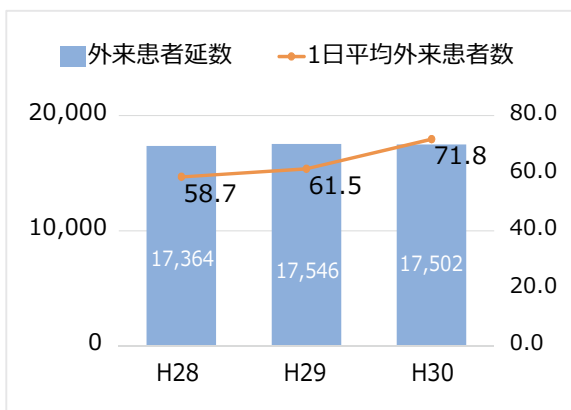
<http://medicalfitness-kumamoto.com/>

南区で地域に根差した医療を提供する

有明海リハビリテーションクリニックは、熊本市南西部の奥古閑町に平成12年6月19日に開院しました。診療科は、外来のみの整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・脳神経内科、他に介護保険適用の「通所リハビリテーションセンター」があり、健康の維持増進をめざす皆さまとスタッフ一同が一緒にがんばっています。



また、精密検査、手術に関しては熊本機能病院と密に連携を行っております。



主な取り組み

- ・熊本機能病院との連携を明確に打ち出し、専門的治療の提供
- ・熊本機能病院での手術後、当院でのフォロー体制の構築
- ・南区認知症サポート指定医療機関として専門的に貢献
- ・担当地域包括支援センターとの連携を図り、通所リハ、予防通所リハを実施

小国杉の香りにつつまれた保育園

「なないろ森の保育園」は平成28年4月1日に開園しました。

「なないろ」は虹が持つ希望あふれるイメージや、子どもたちのきらきら輝く様々な個性、「森」はその子どもたちがすくすくと成長する様子をあらわしています。

熊本機能病院内の地域交流館では、育休中の病院職員や地域の方を対象に、子育て支援活動「なないろフレンズ」を立ち上げ活動中です。子育て中の保護者の方々の情報交換や育児相談の場として、また、息抜きの場としてご利用いただいています。



こどもたちのため、働くお母さん、お父さんのため
笑顔の絶えない保育園づくりを目指します

主な取り組み

- ・「熊本市 地域型保育事業 事業所内保育所 保育所型」認可取得
- ・延長保育事業の実施
- ・一時預かり自主事業実施
- ・平成29年度より子育て支援事業「なないろフレンズ」の発足
◎月1回程度開催し、制作やリズム遊び等を行う



①



②



③



④

〈いっぱいあそんで・ いっぱいかんじる保育〉

- ◎ 園外活動・戸外遊びの充実
- ◎ お弁当の日の実施 年3回程度
- ◎ 介護老人保健施設 清雅苑（高齢者）との交流
 - ・ 芋苗植え等
 - ・ 活動を通して高齢者との交流を楽しむ

- ① なないろフレンズ（親子ふれあい体操）
- ② 英語遊び
- ③ 2019年度入園式
- ④ 八景水谷公園で水遊び



**地域とともに
一歩一歩 一日一日
がんばりましょう**

医療法人社団 寿量会 医局集合写真

令和元年8月8日

医療法人社団 寿量会 平成30年度年報

発行
医療法人社団 寿量会
熊本機能病院
介護老人保健施設 清雅苑
指定運動療法施設 熊本健康・体力づくりセンター
有明海リハビリテーションクリニック
地域ケア支援センター
なないろ森の保育園
〒860-8518 熊本県熊本市北区山室6丁目8番1号
TEL：096-345-8111

編集・制作
事務部 総務課 水野 真実
広報センター 鎌田夕起子